

オナホが



を
舐め

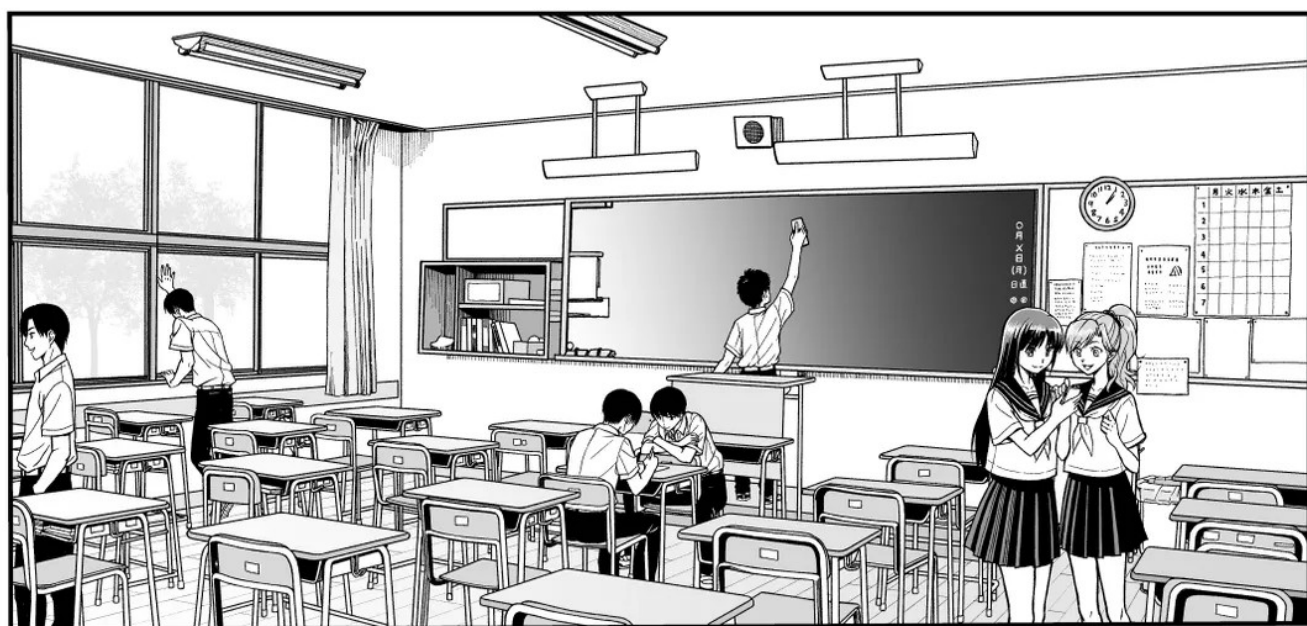
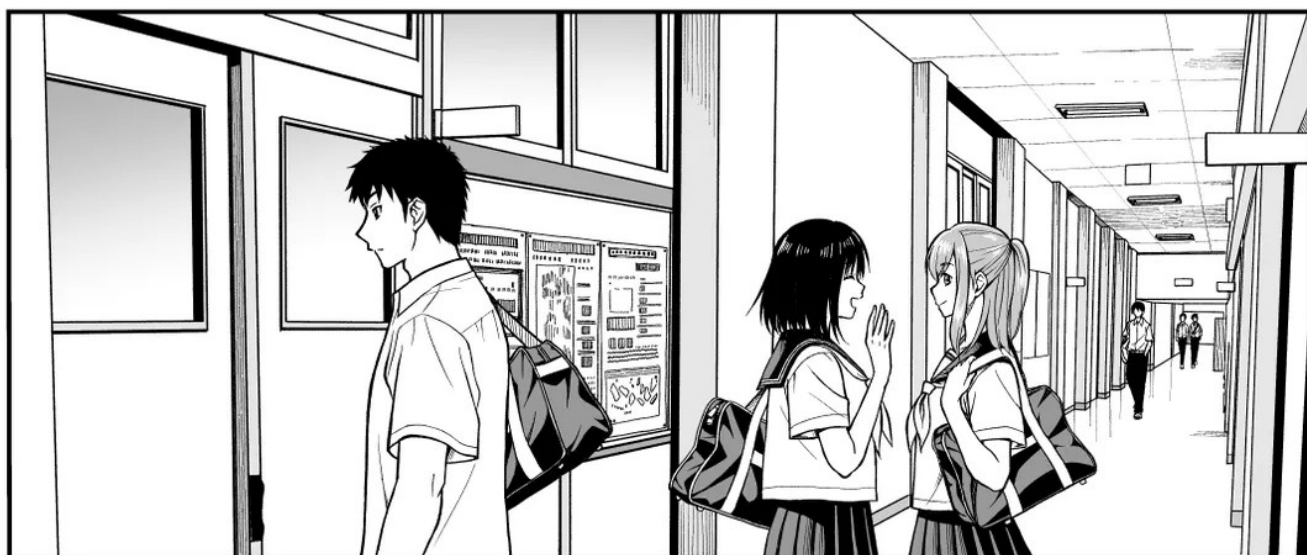
知っているのは

クラスで



だけ。







まーた
学校で

センシティブ画像
見てる——ッ!!

ダメな
ものは
ダメッ!!

…はい
はい…

…はあ…
また
委員長か…

「センシティブ」
って…

このレベルを
BANする
つもりかよ…











「四十八手」って
何の事だか
わかってんの
かよ!?

それぐらい
わかってる!!



……
わかつ
てる……

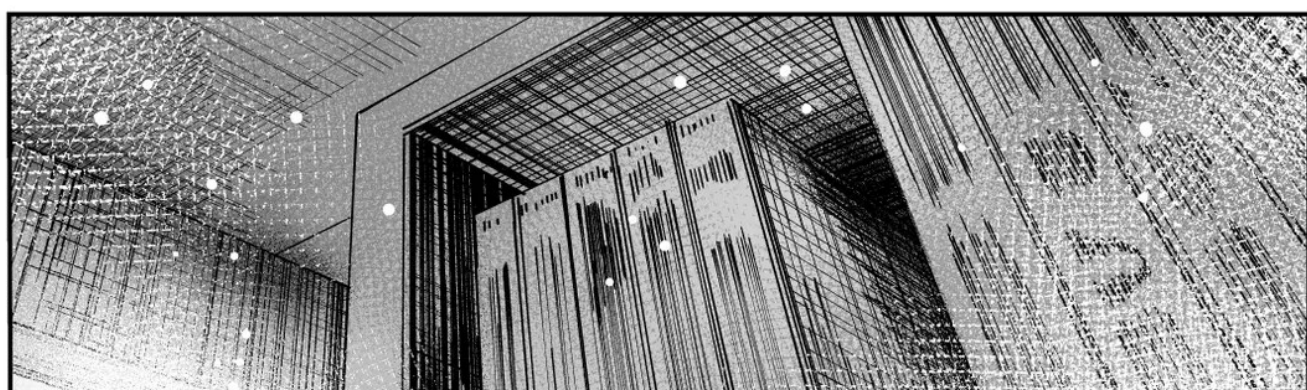
……
わよ……

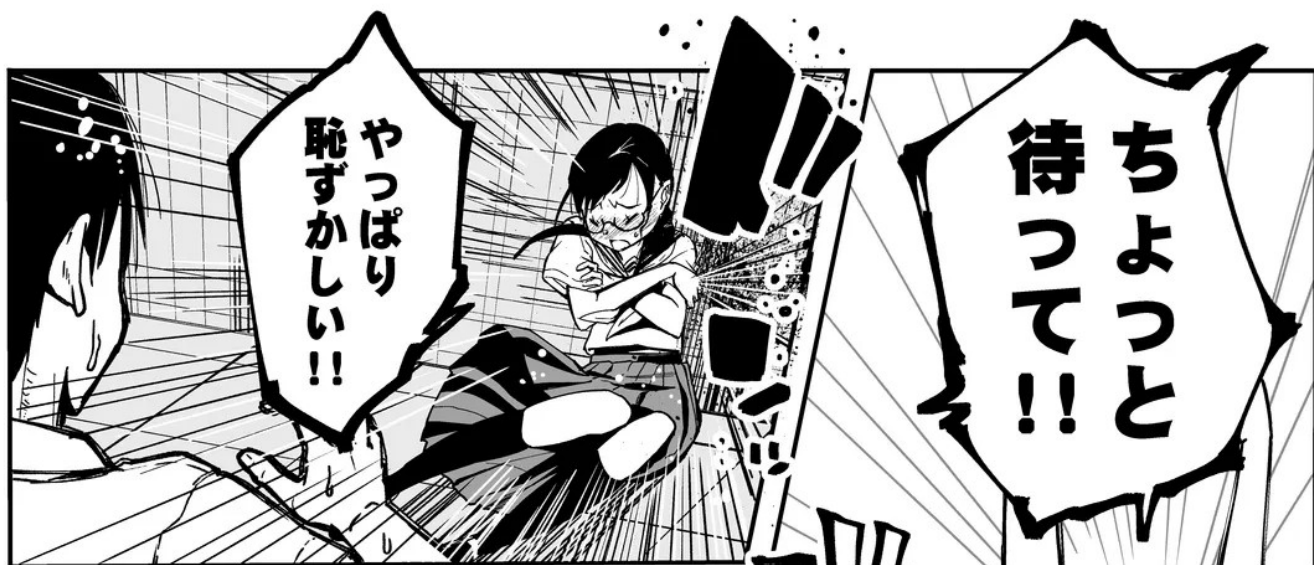
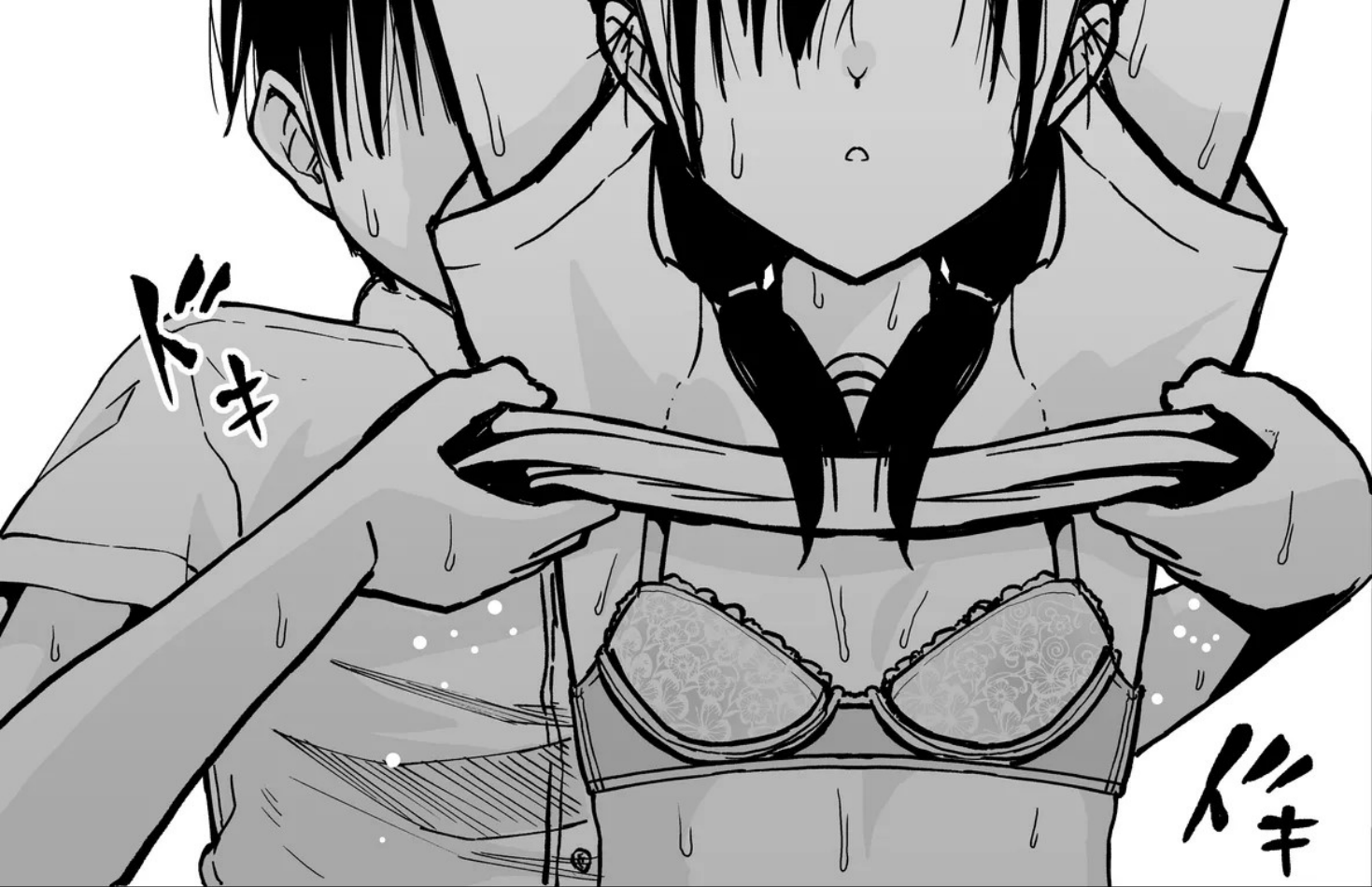


……だから……

佐藤くんに
お願いして
るんじゃない……

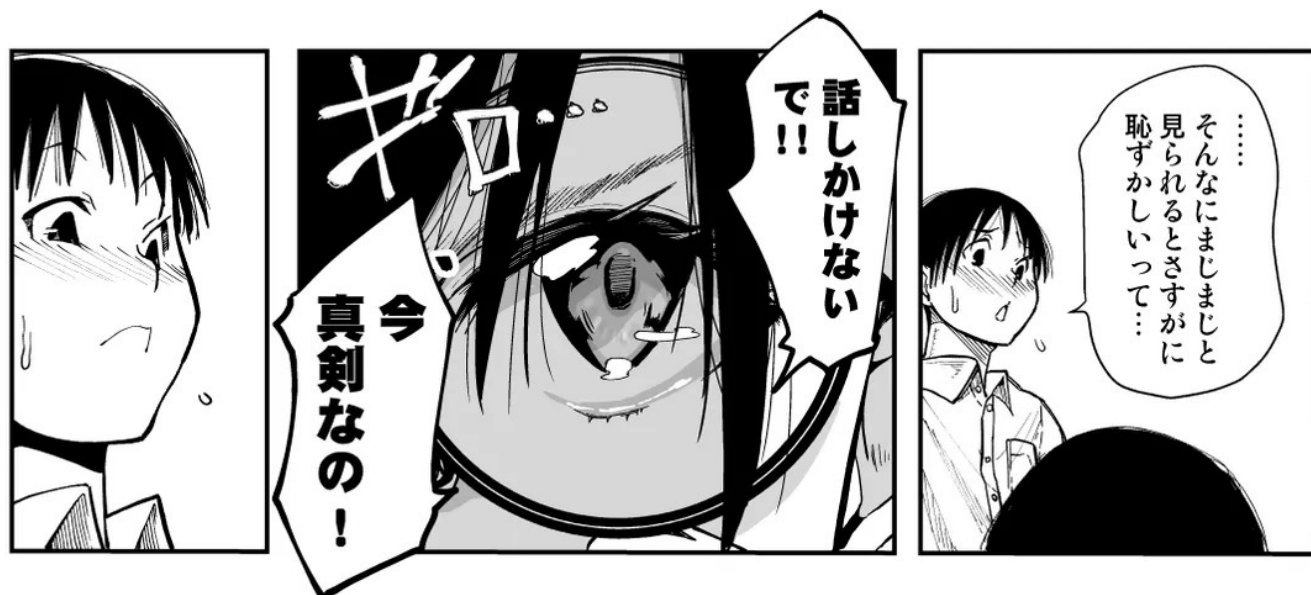








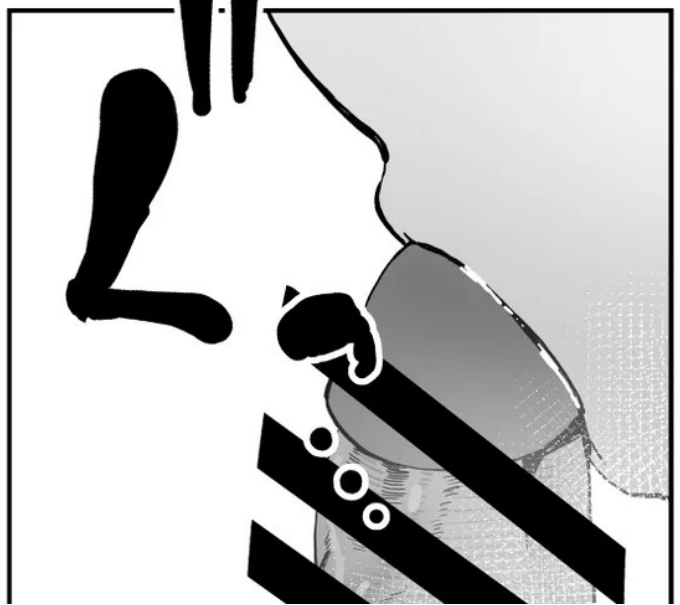
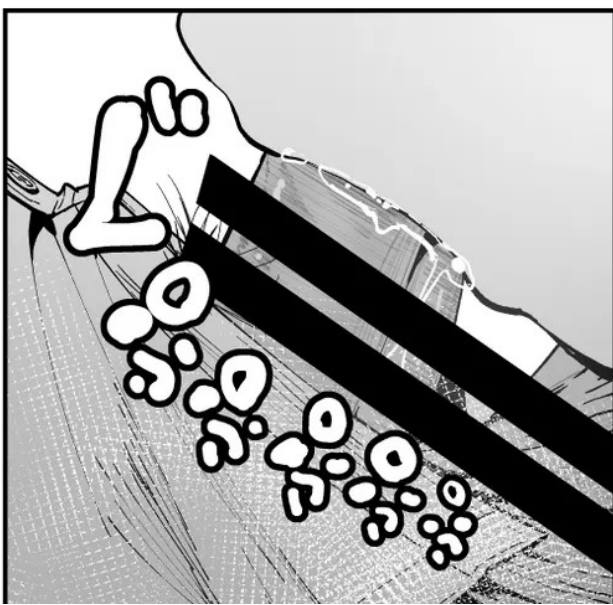


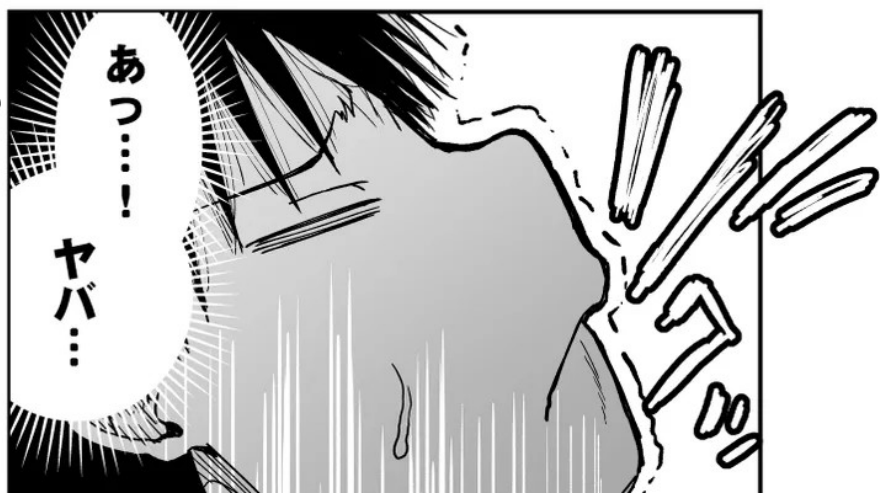


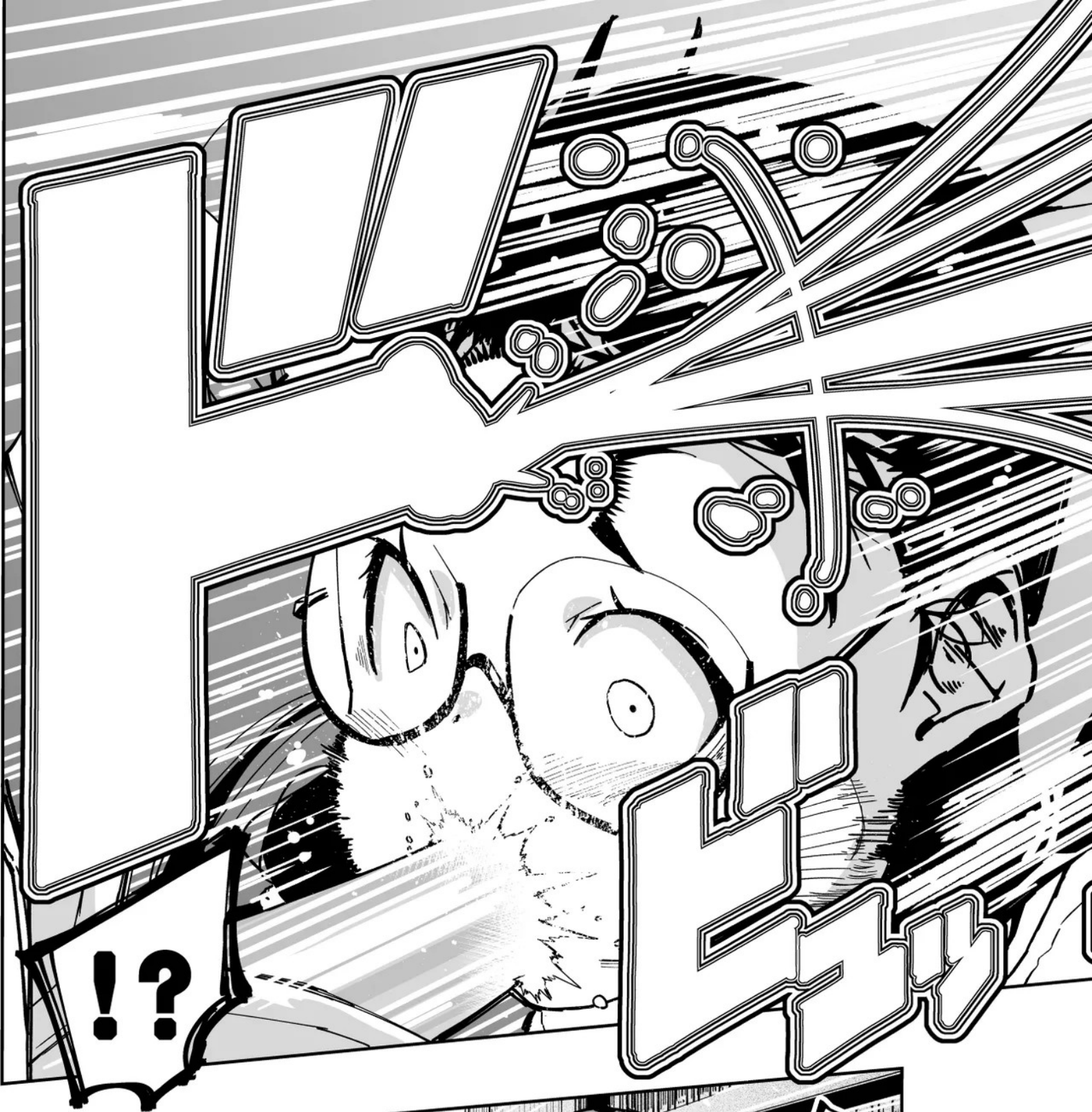


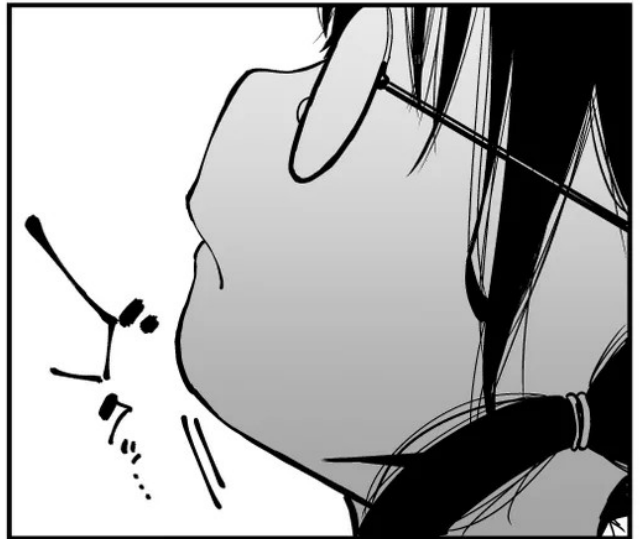














自分で
確かめる
から

私の
も
舐
め
て

いわしみず
石清水

岩から染み出す
清水を舐めとるが如く
女性の秘部より染み出る
蜜を舐めとる。



いわしみず
石清水

岩から染み出す
清水を舐めとるが如く
女性の秘部より染み出る
蜜を舐めとる。







~~~~ツ！

佐藤くんに  
私の大事なとこ  
真近くで見られ  
ちやつてる…！！



恥ずかしい！！

恥ずかしい  
よう〜ツ！！

——だけど——



すっごく興奮する…♡

ハ…ハ…♡

ハ…ハ…♡

ハ…ハ…♡

ハ…ハ…♡

ハ…ハ…♡

ハ…ハ…♡

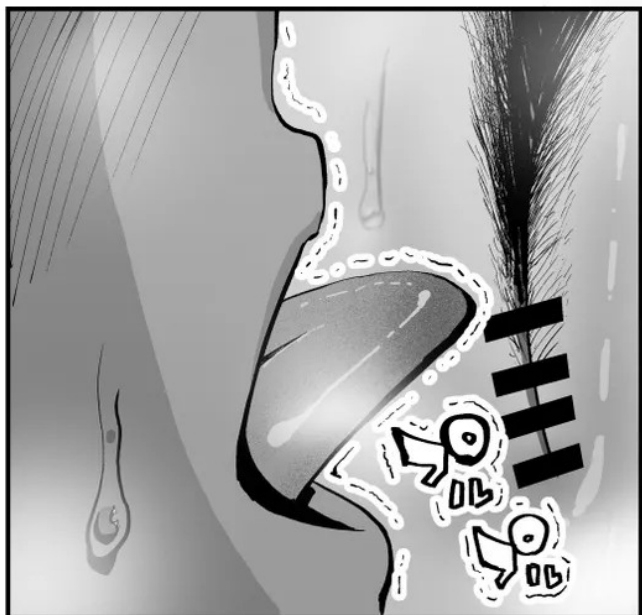
ハ…ハ…♡

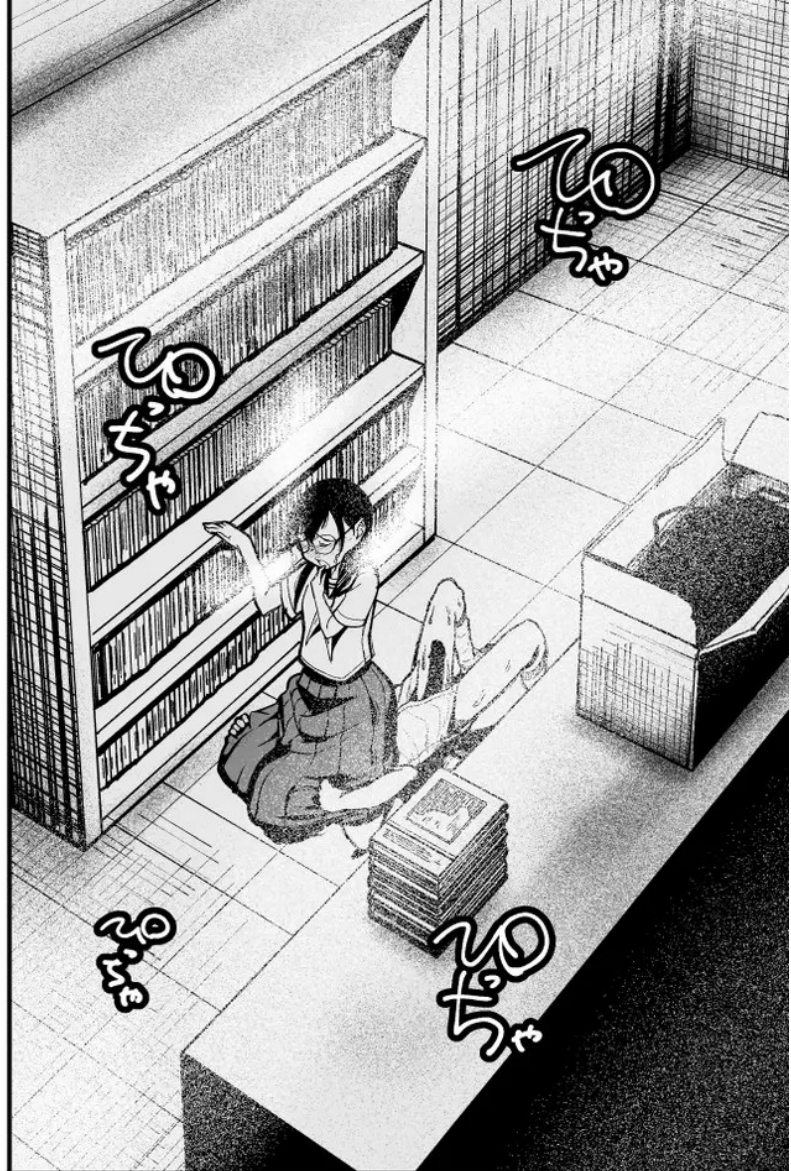
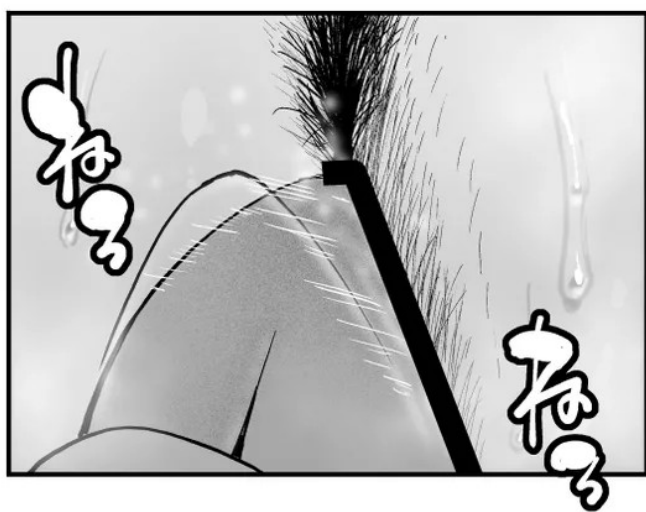
ハ…ハ…♡

なんか  
この恥ずかしさ

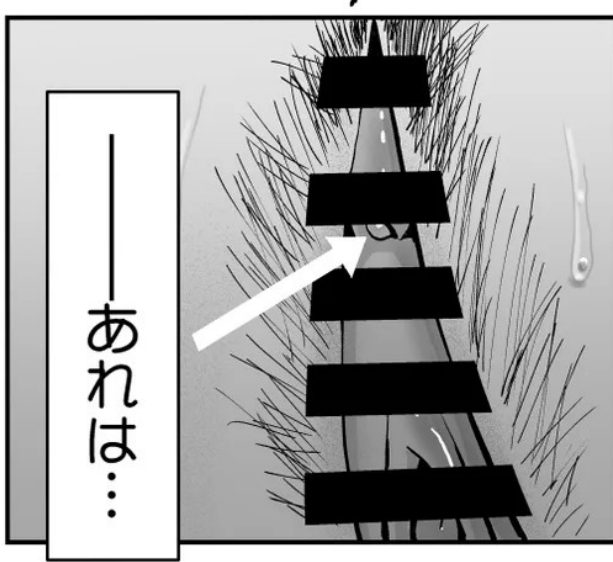
クセに  
なりそう…♡

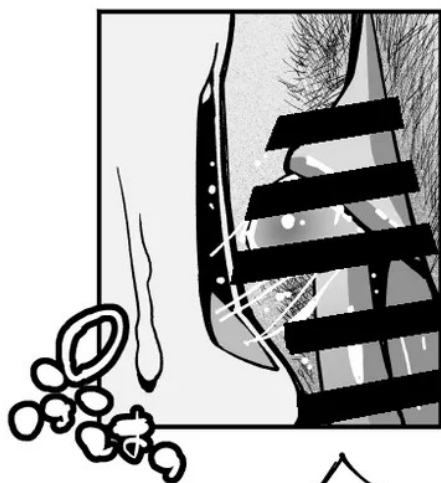
ハ…ハ…♡











さつきより  
大きくなっ  
てる!!

これって  
たしか…

こうなると  
超敏感に  
なるって  
ネットに  
書いて  
あったな…













あ

ニ、コ、オ、カ、キ

何か来る…

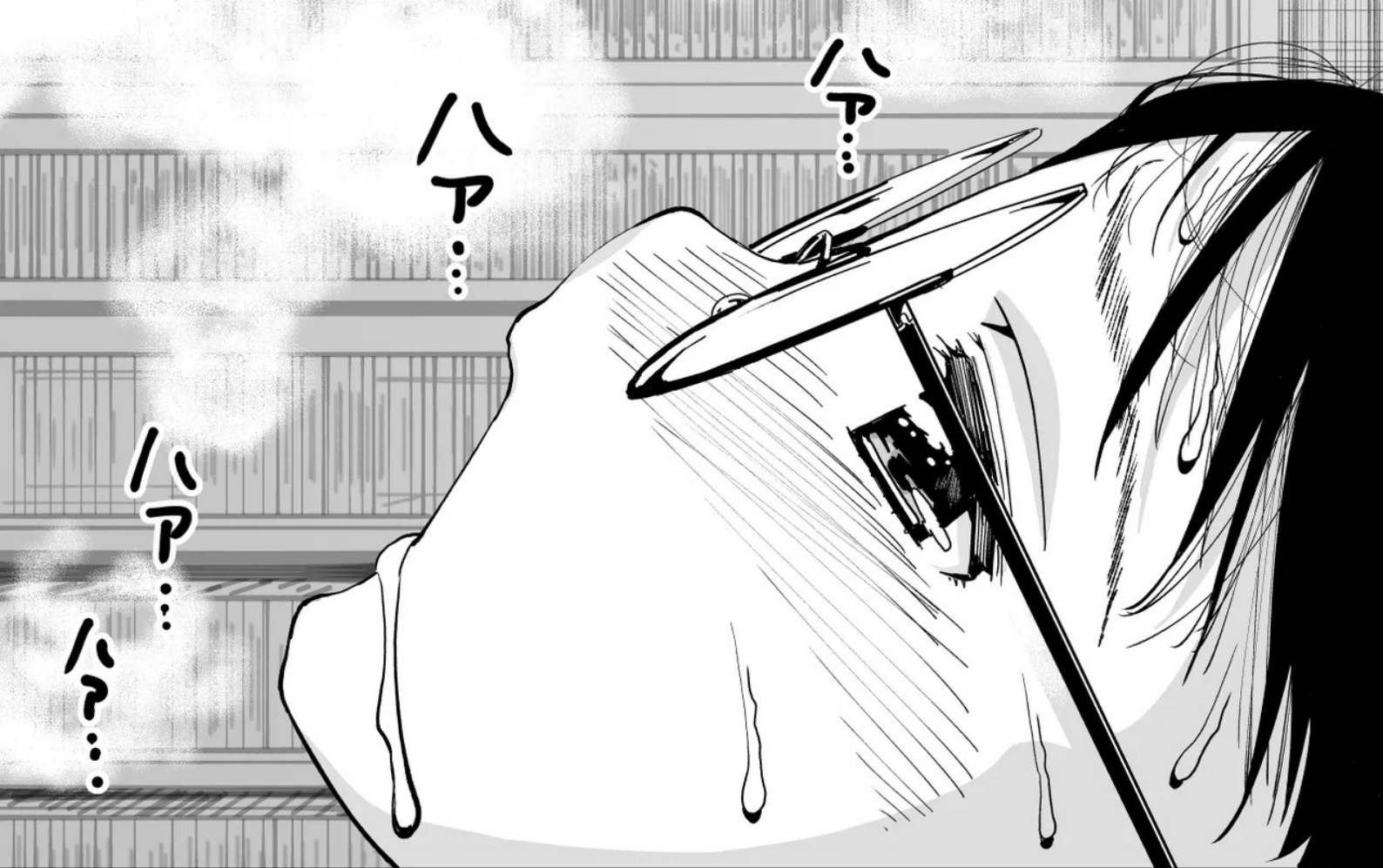






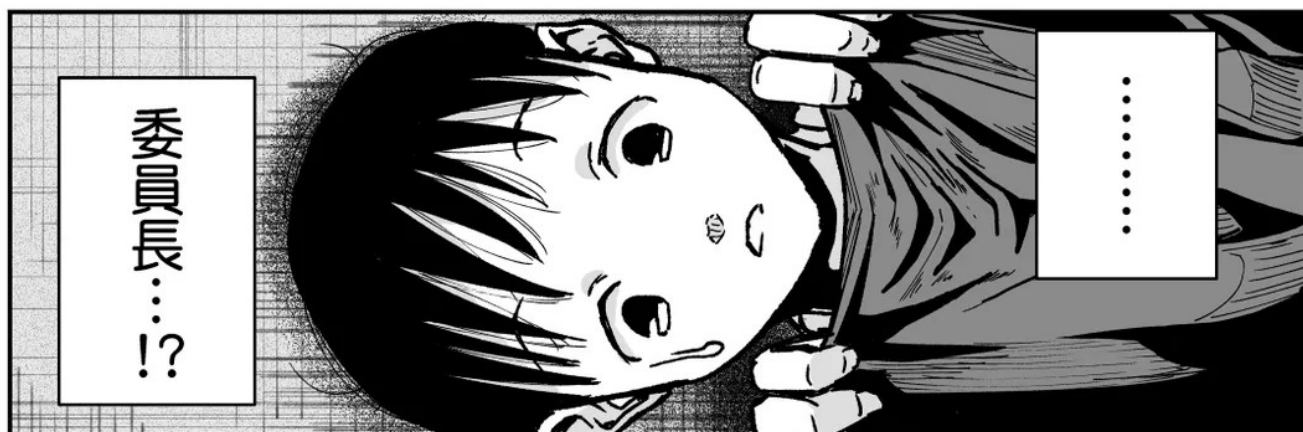


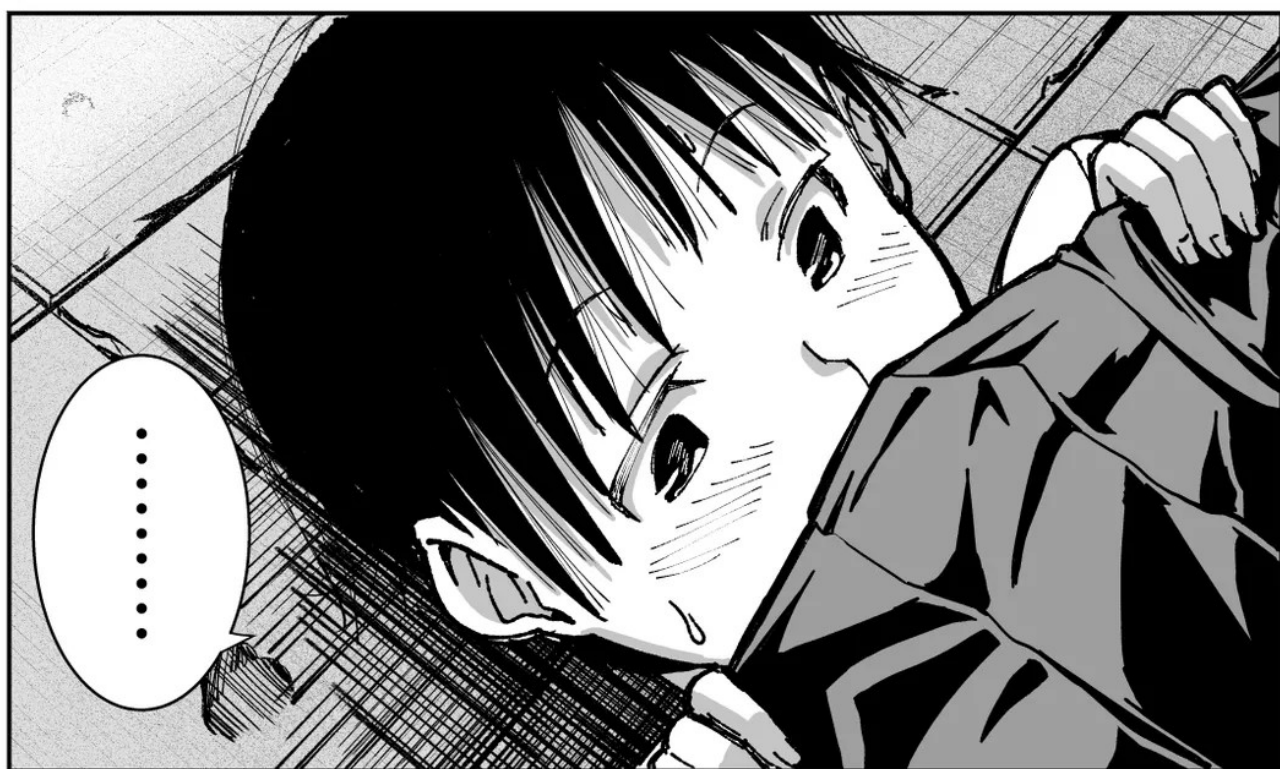




















身動きが  
とれない…！

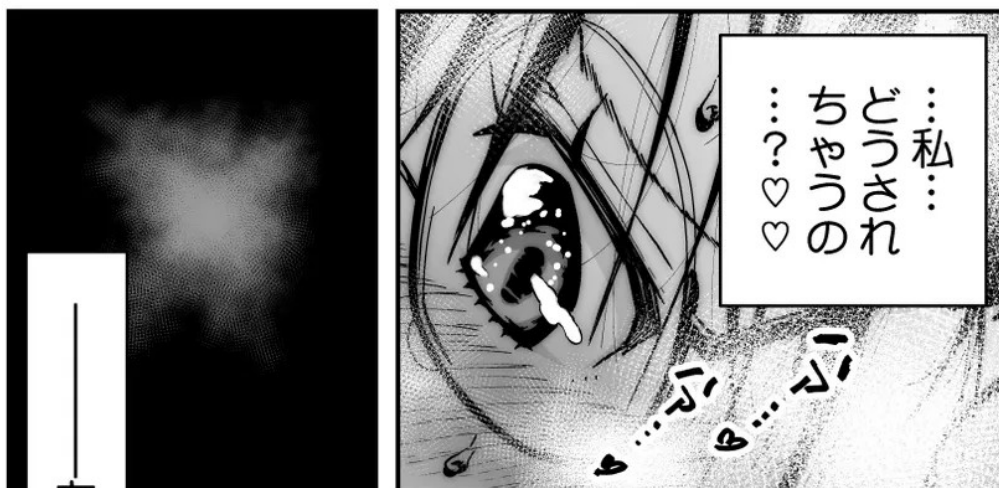
こんなの  
佐藤くんの  
されるがまま  
じゃない…

怖いよ…！



—でも…  
なんか…  
すごい  
ドキドキ  
してる…

怖さもあるけど  
期待の方が  
大きいかも…♡



…私…  
どうされ  
ちゃうの  
…？♡♡

—あ…

ドクニ…









眠っていた  
扉が――

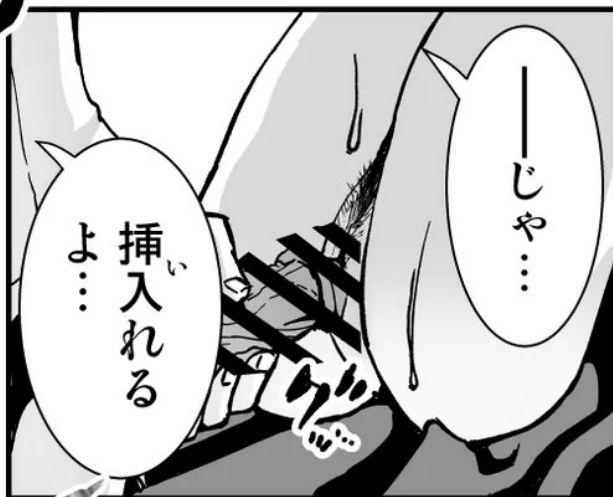
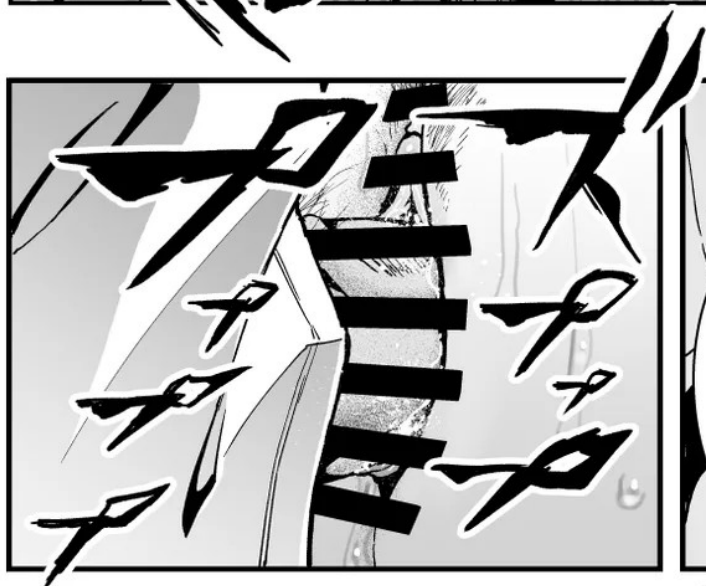
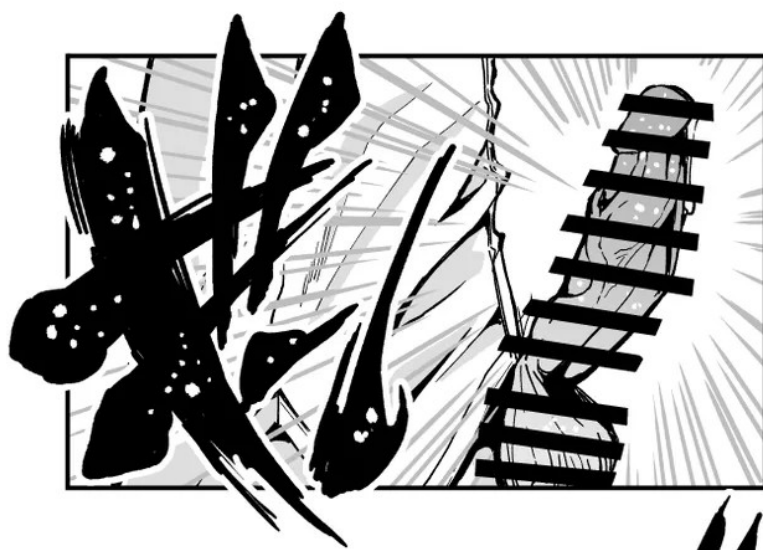


開いた――



私の中で…















ホントは  
オレに隷属  
したいんで  
しょ？

ちゃんと  
認めたら

もっと  
もーっと  
委員長を悦ば  
せてあげるよ

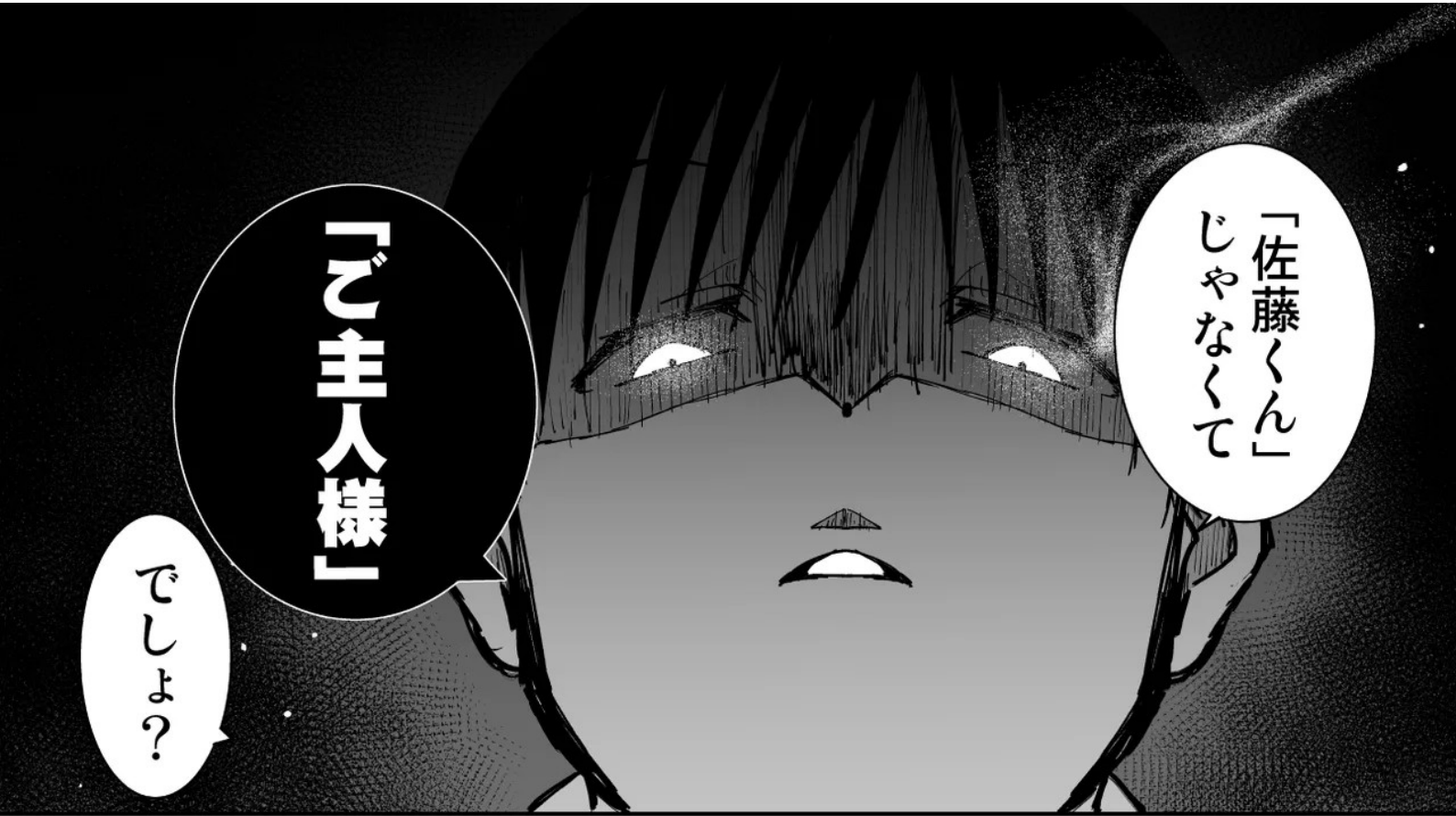


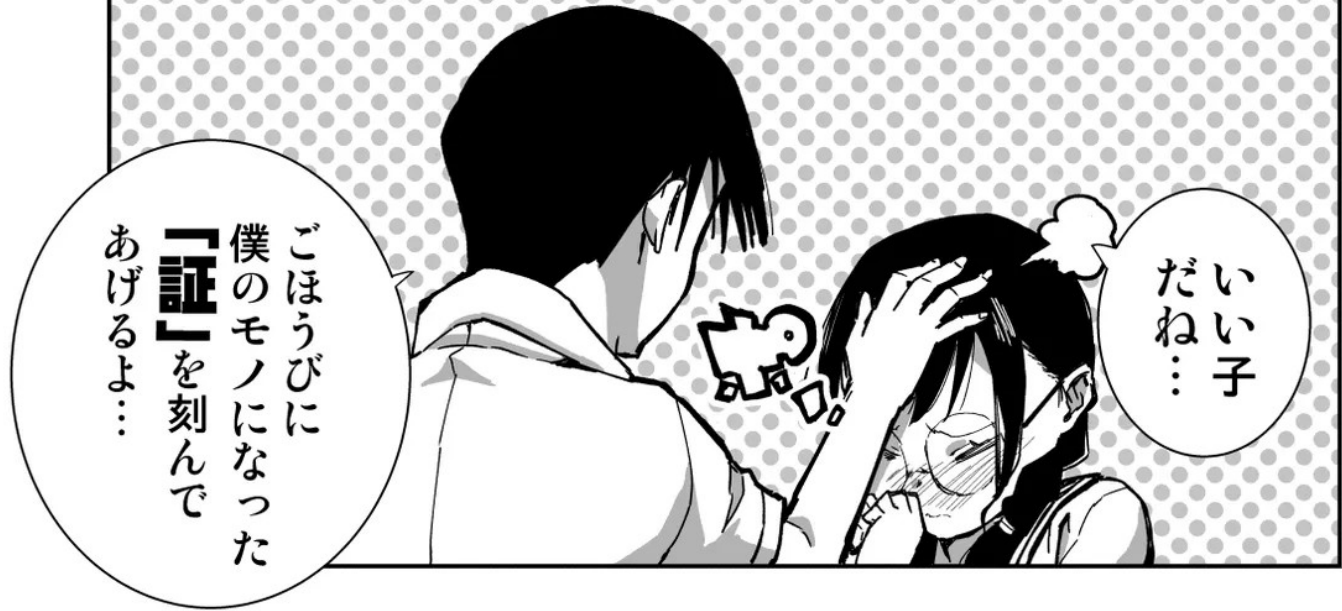
——わかりました…

うろおー…











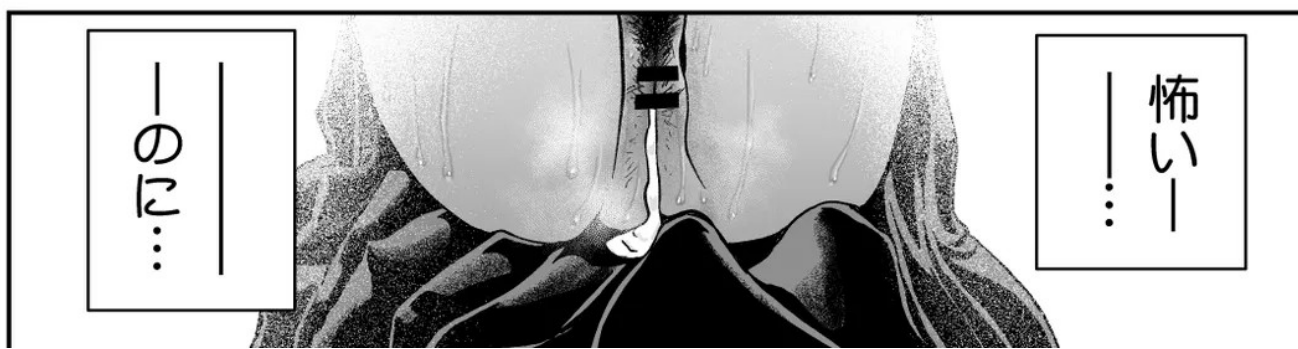
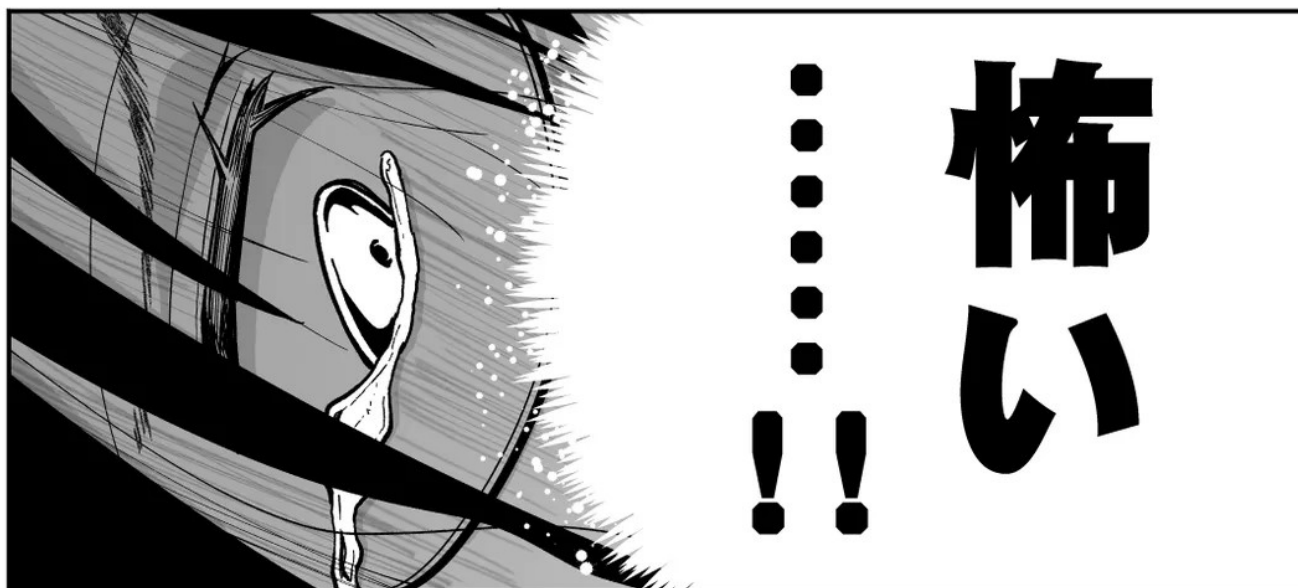




入ってくる...!

お腹の中に  
熱いのがどんどん  
入ってくるよう〜ッ!!

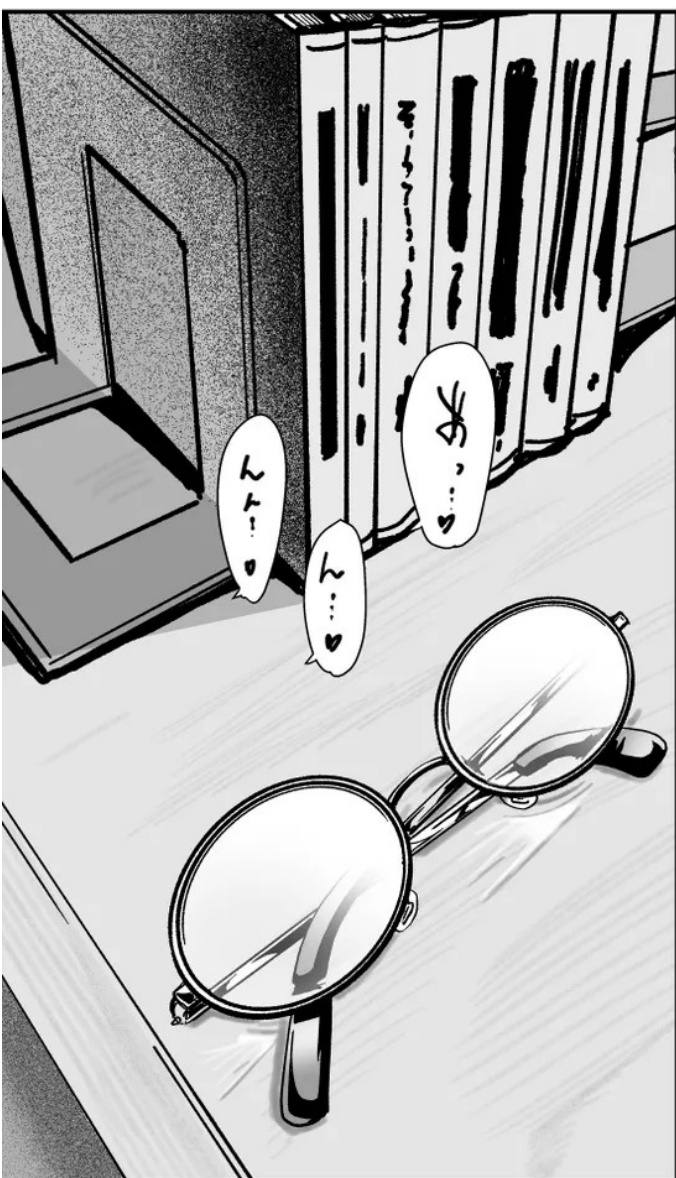








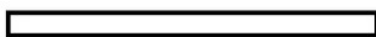
















センシティブ！  
センシティブ！  
センシティブ！！



委員長って  
ガチで１ミリも  
エロい事に  
興味ねえんだ  
ろーなー！

ハア...



ホンツツトに  
男子って  
エッチな事で  
頭いっぱい  
なのね！！

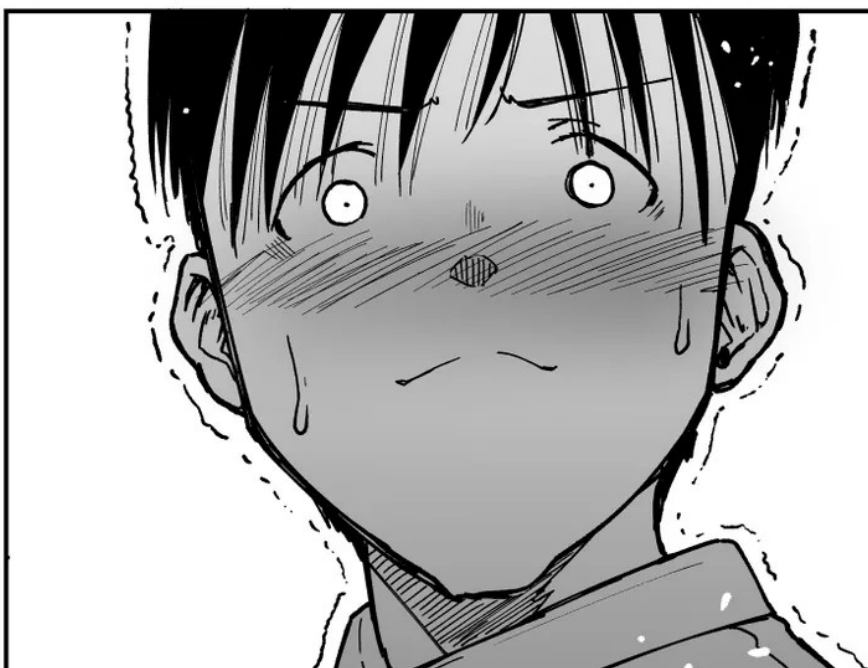


あつ...

そっか...





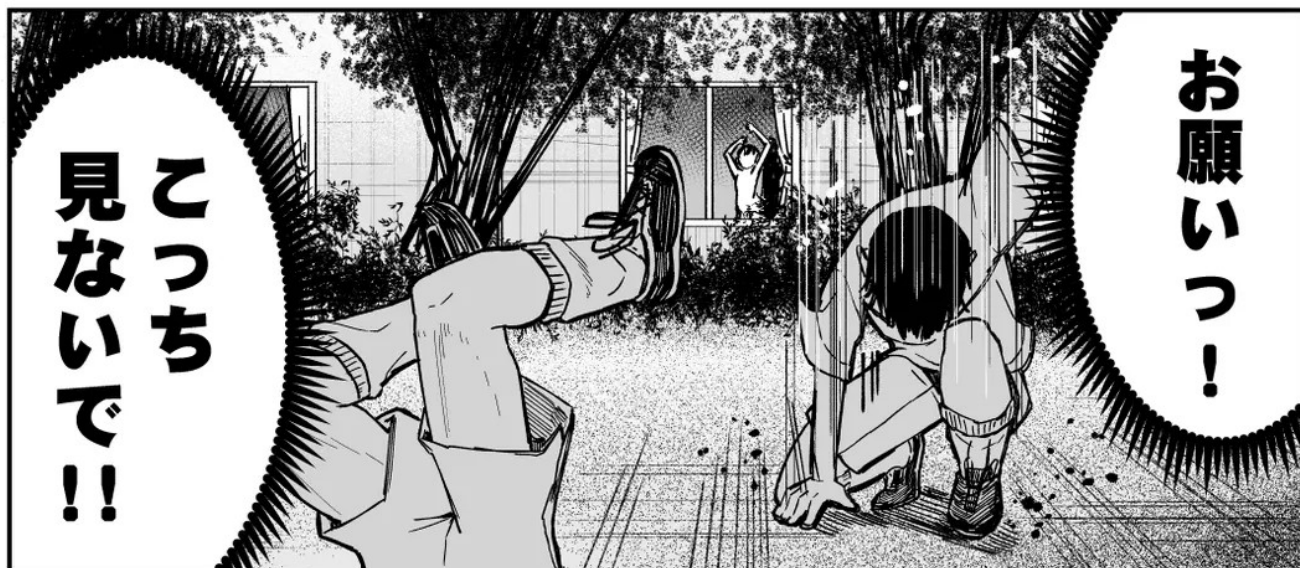
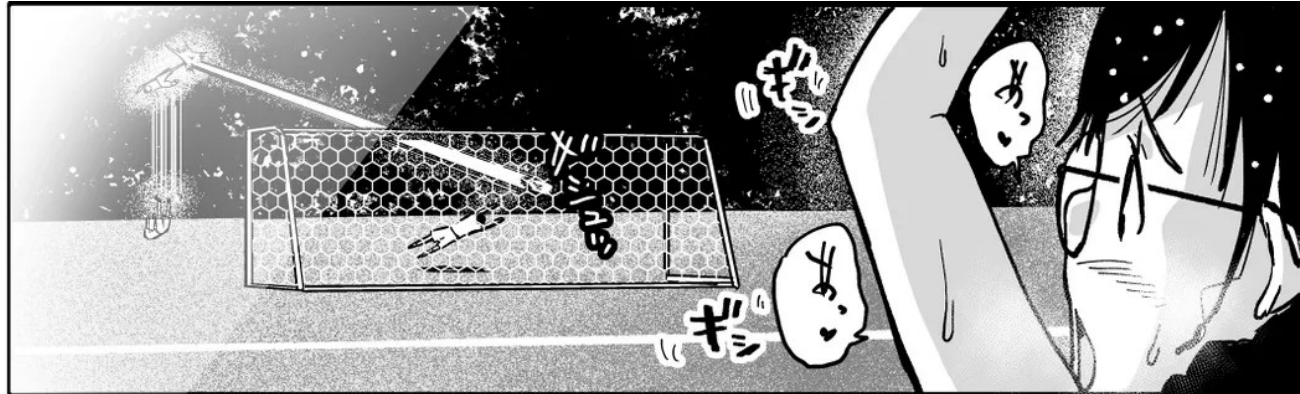














きやつ!?

バカ

いけいけねね

バカ

バカ

だれか  
いるの  
かな?

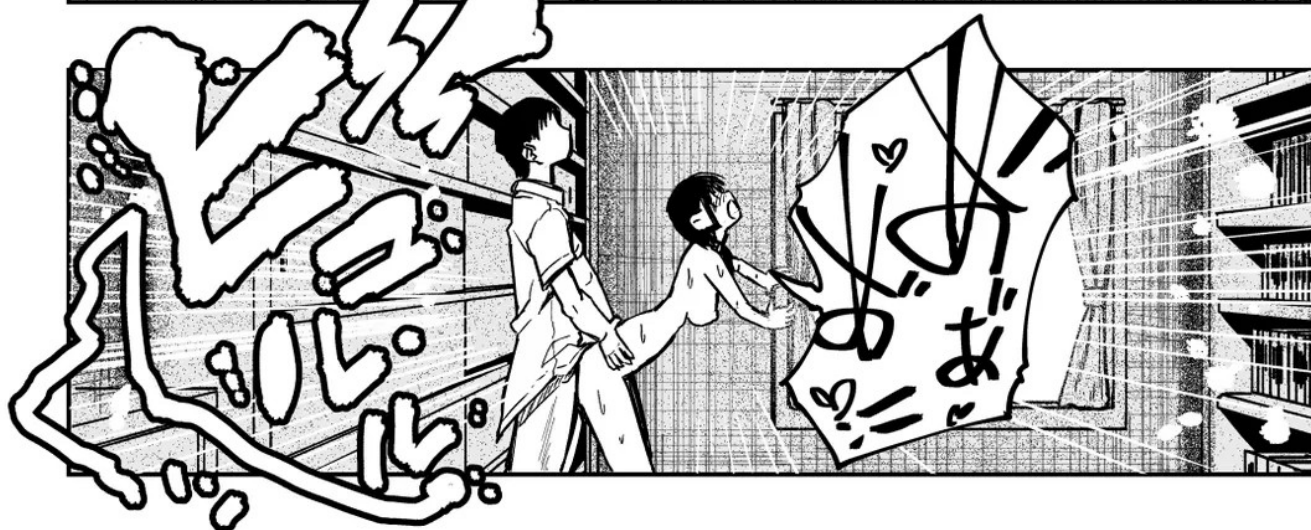
人の声  
...?

あ

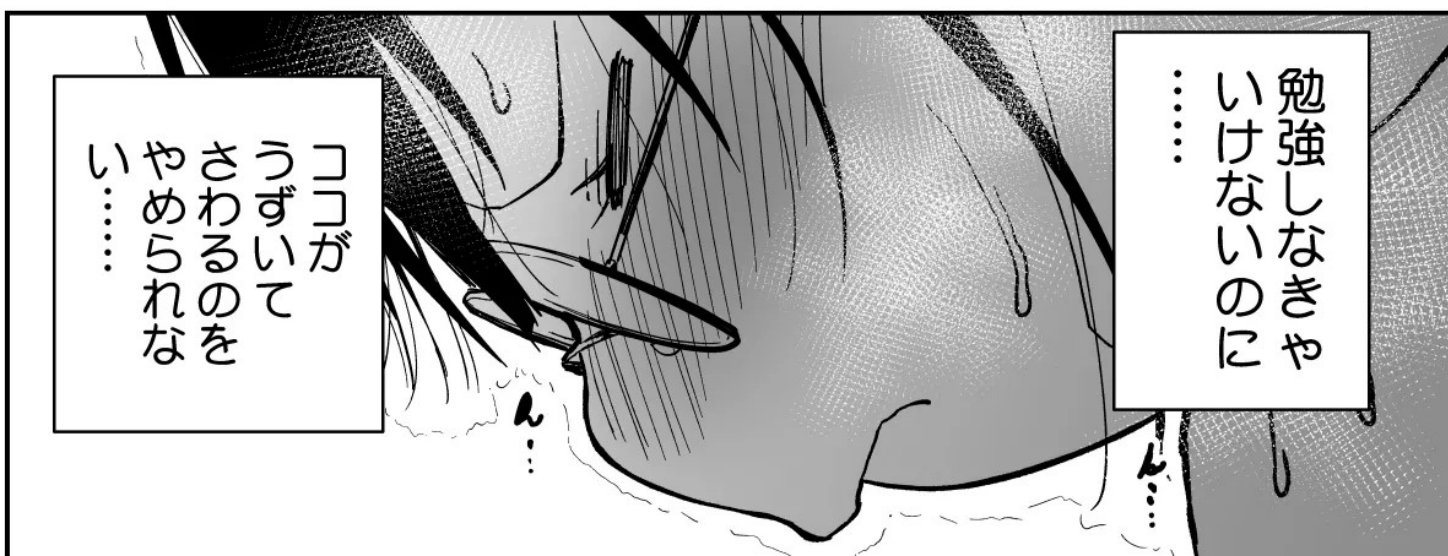
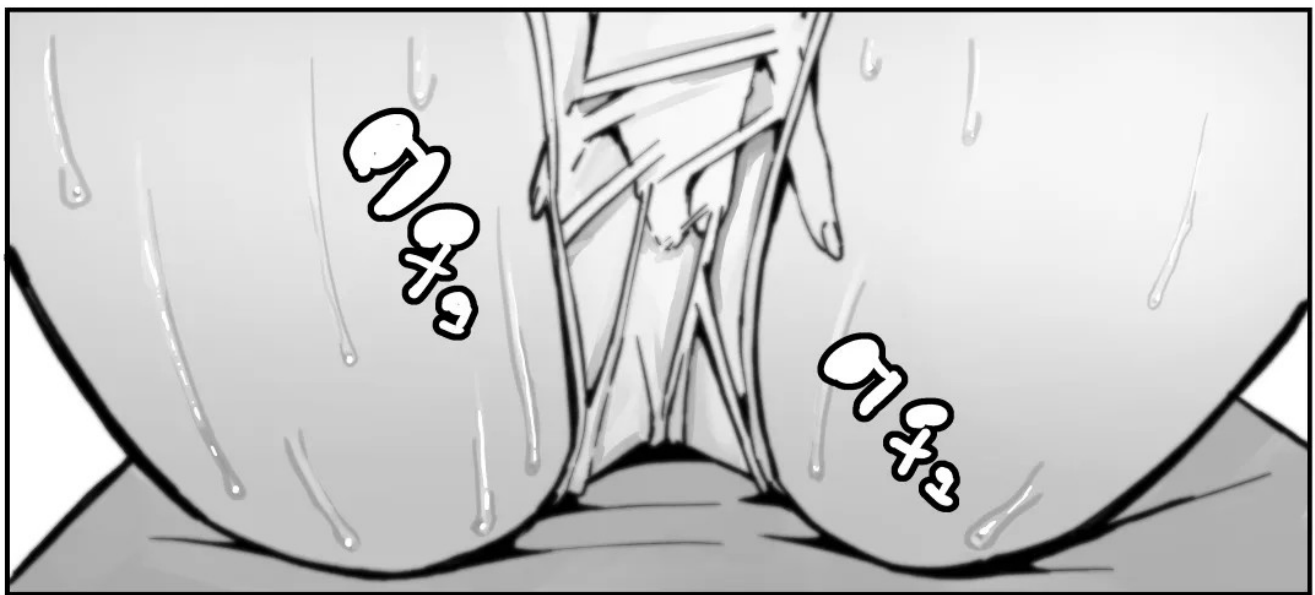
ん



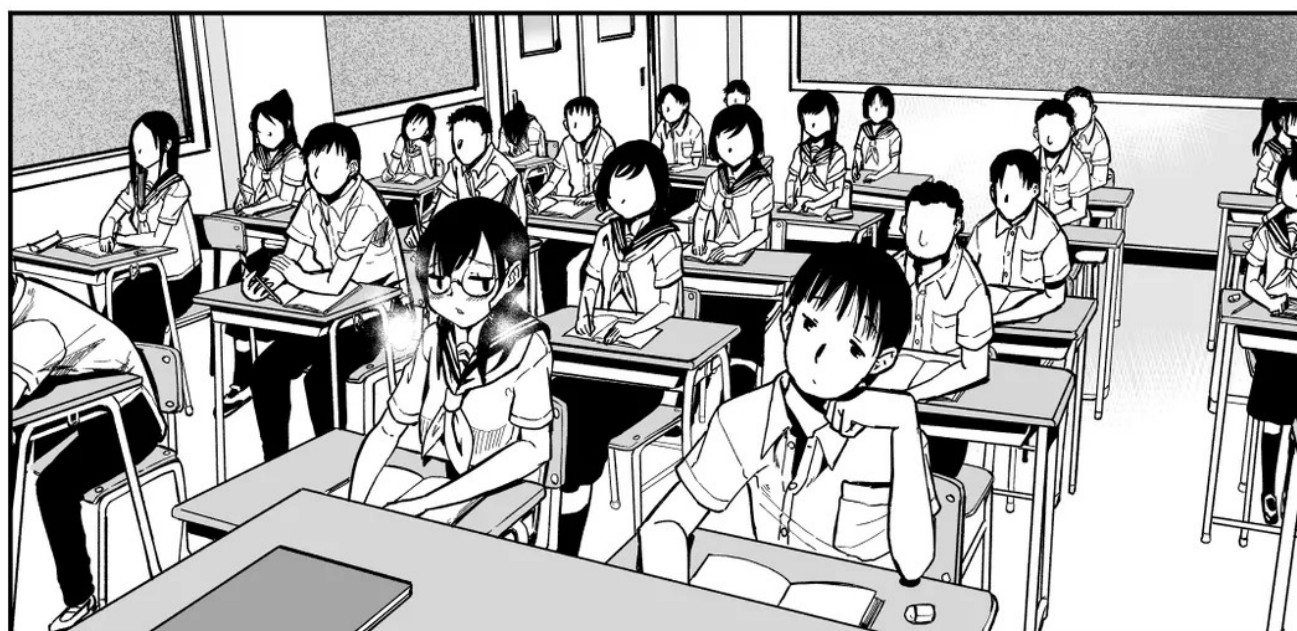
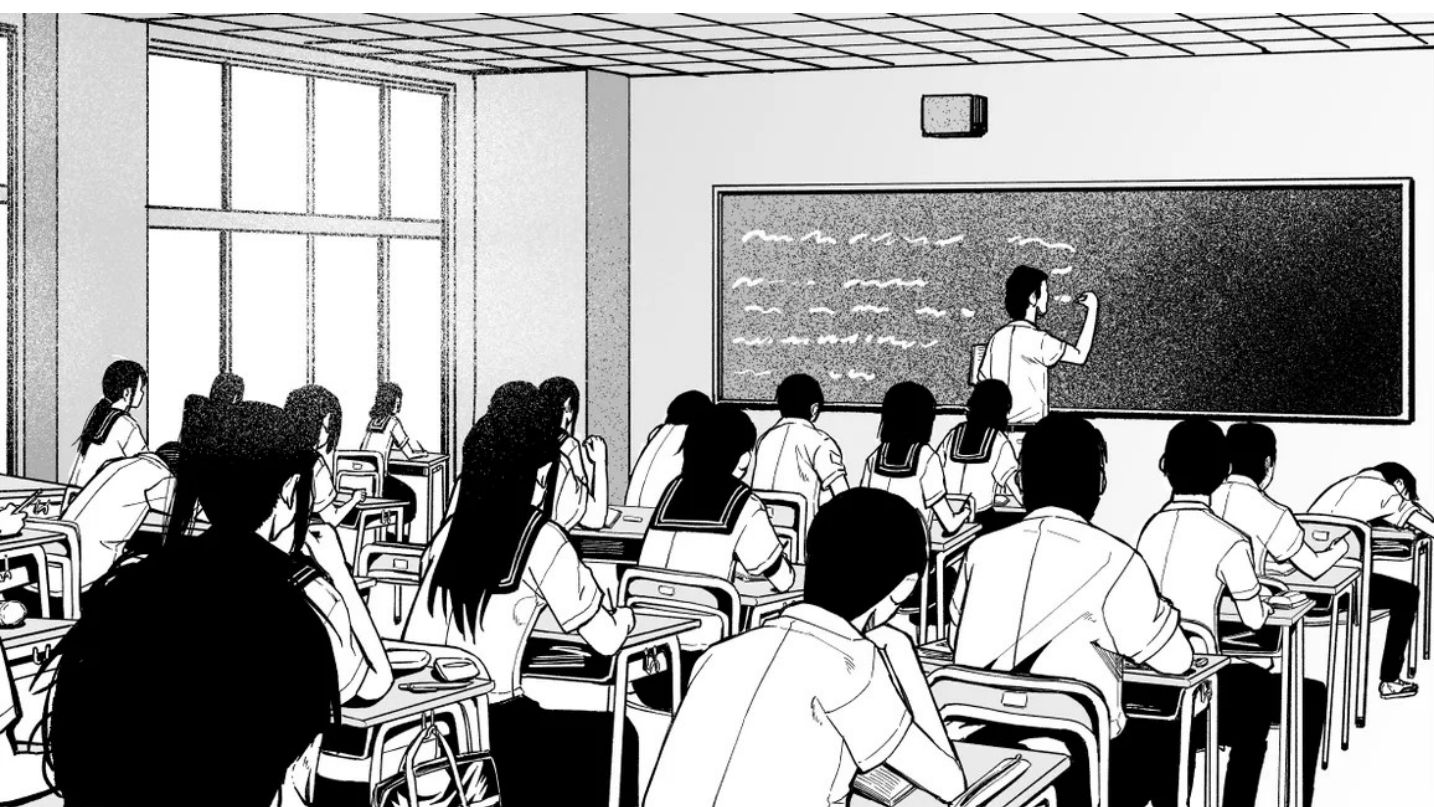




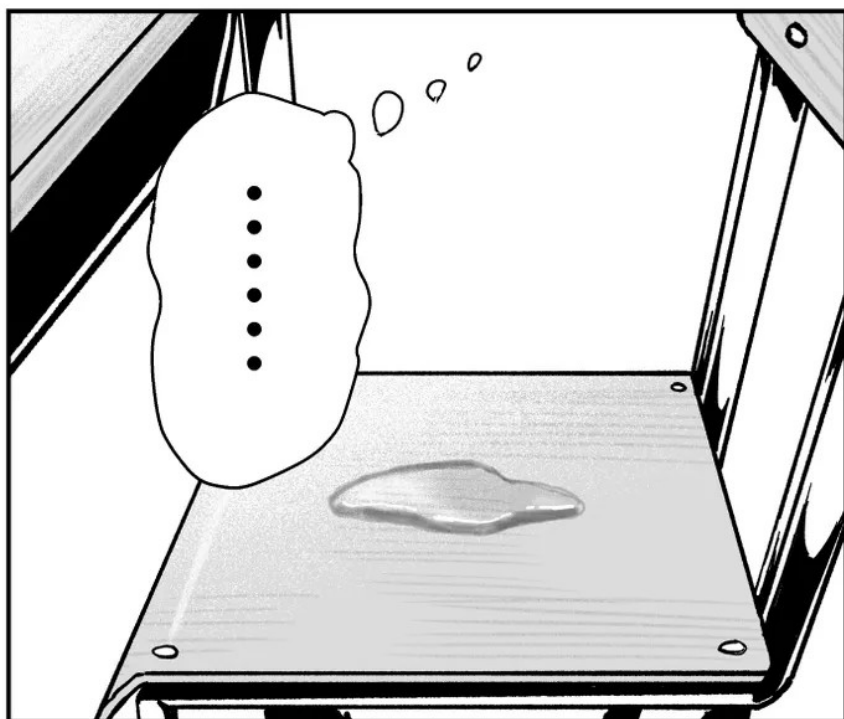




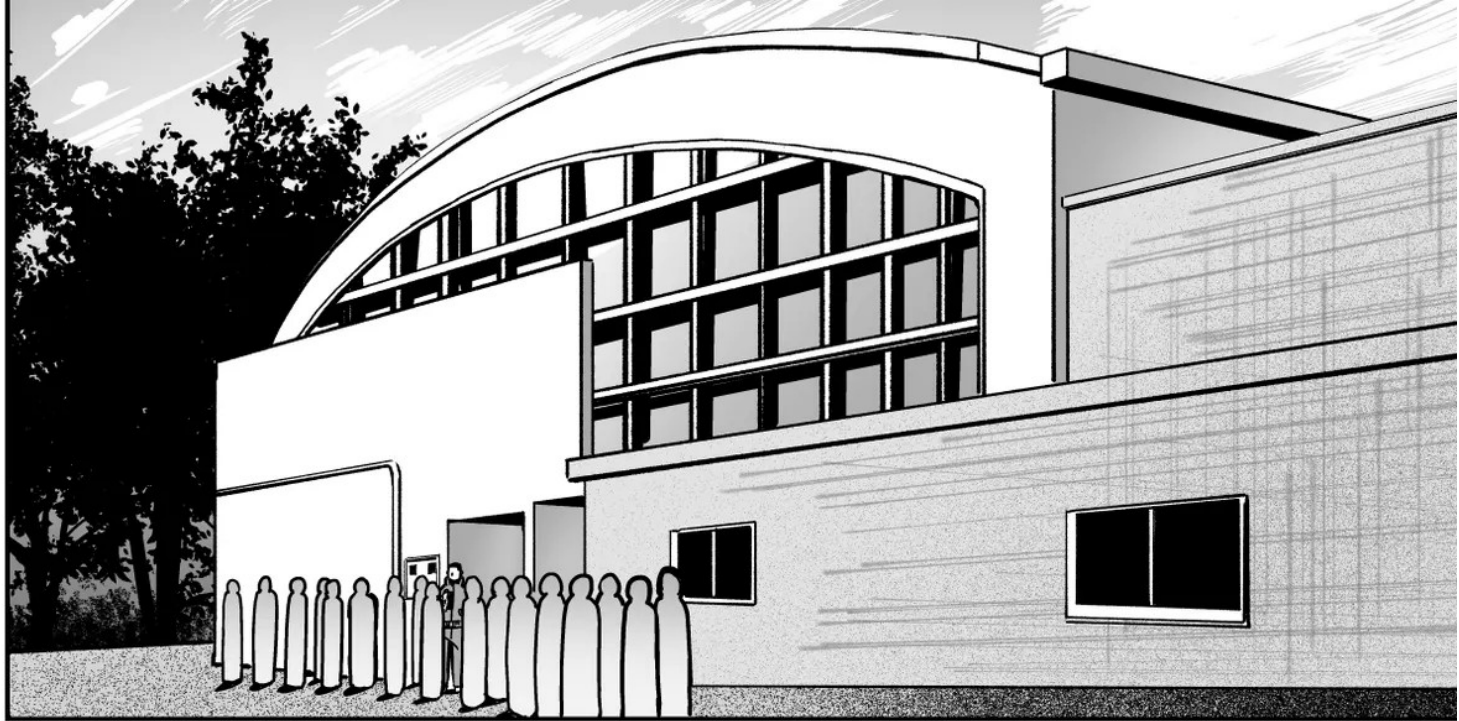




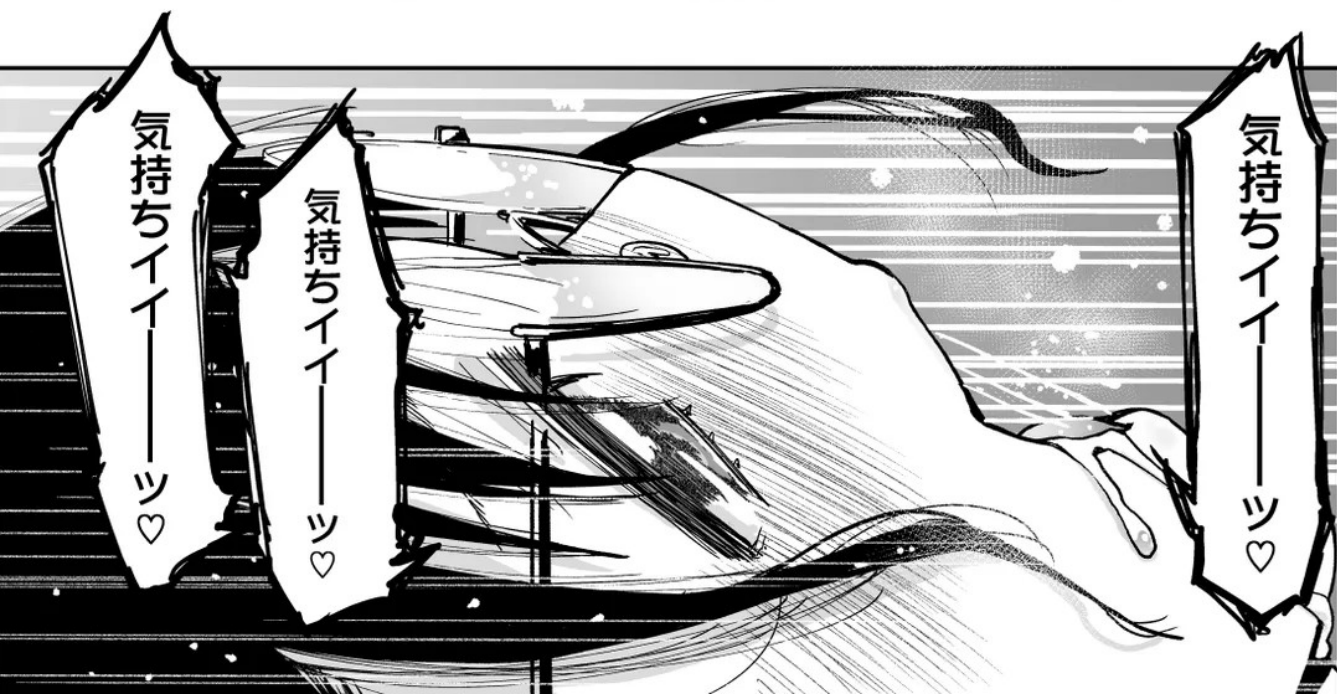
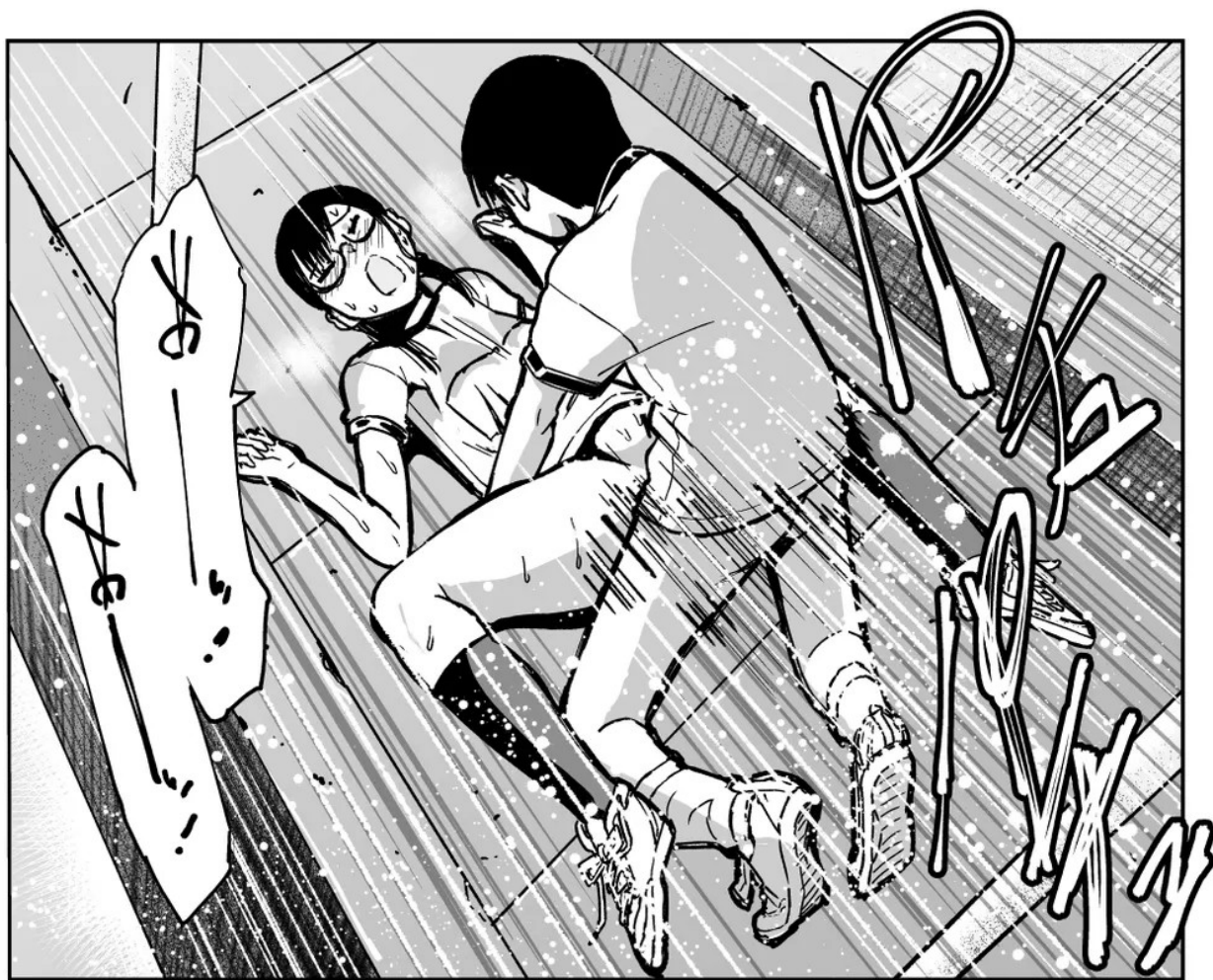
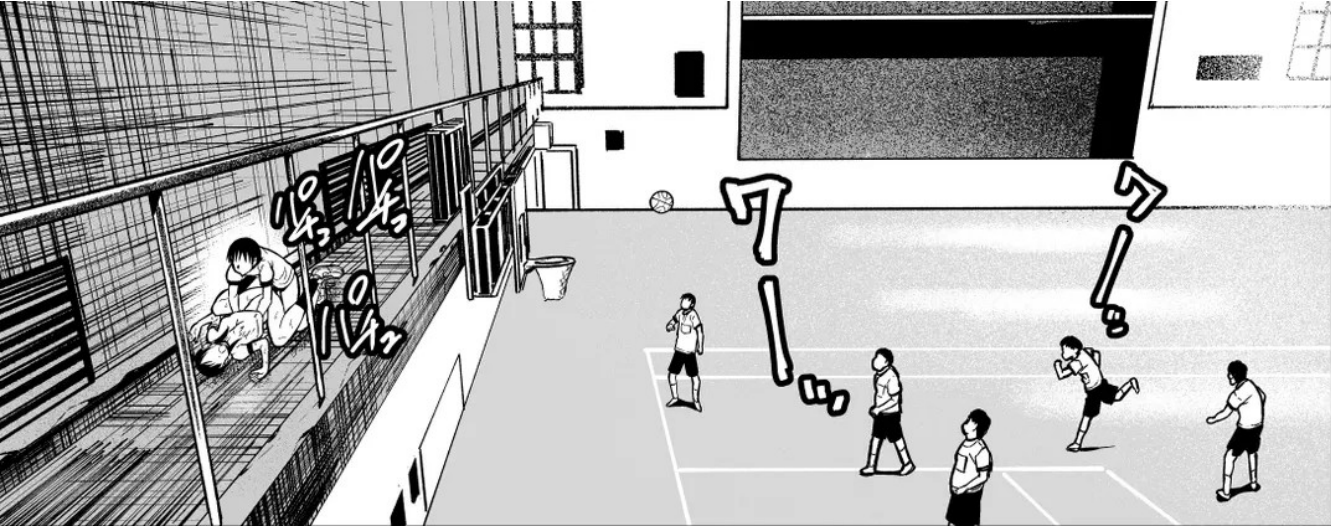


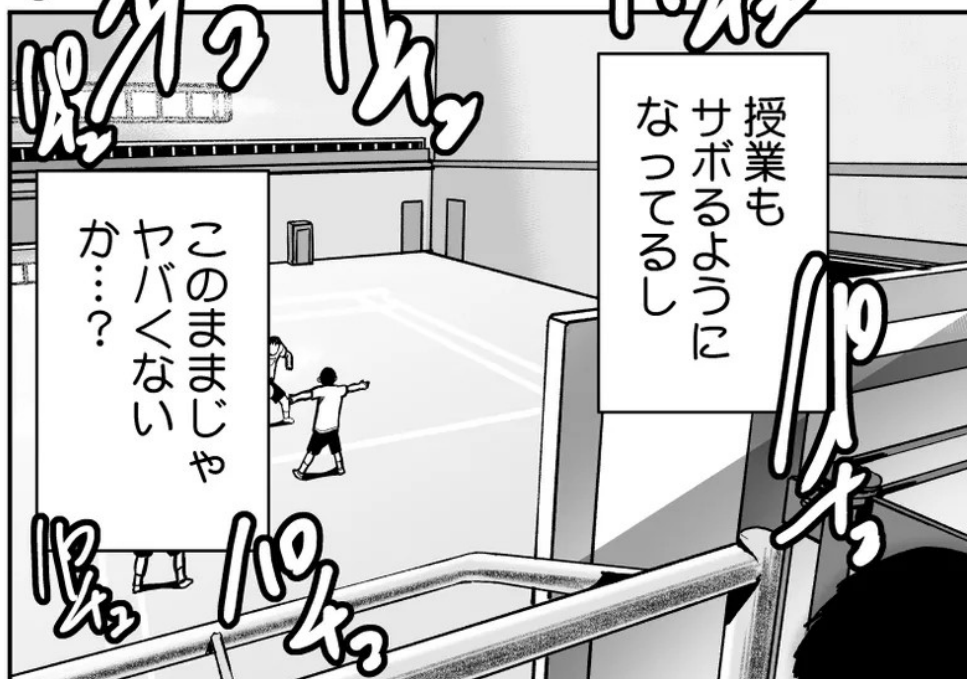
















# 期末テスト学年順位

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

前田 こだま

下から  
3番目!?

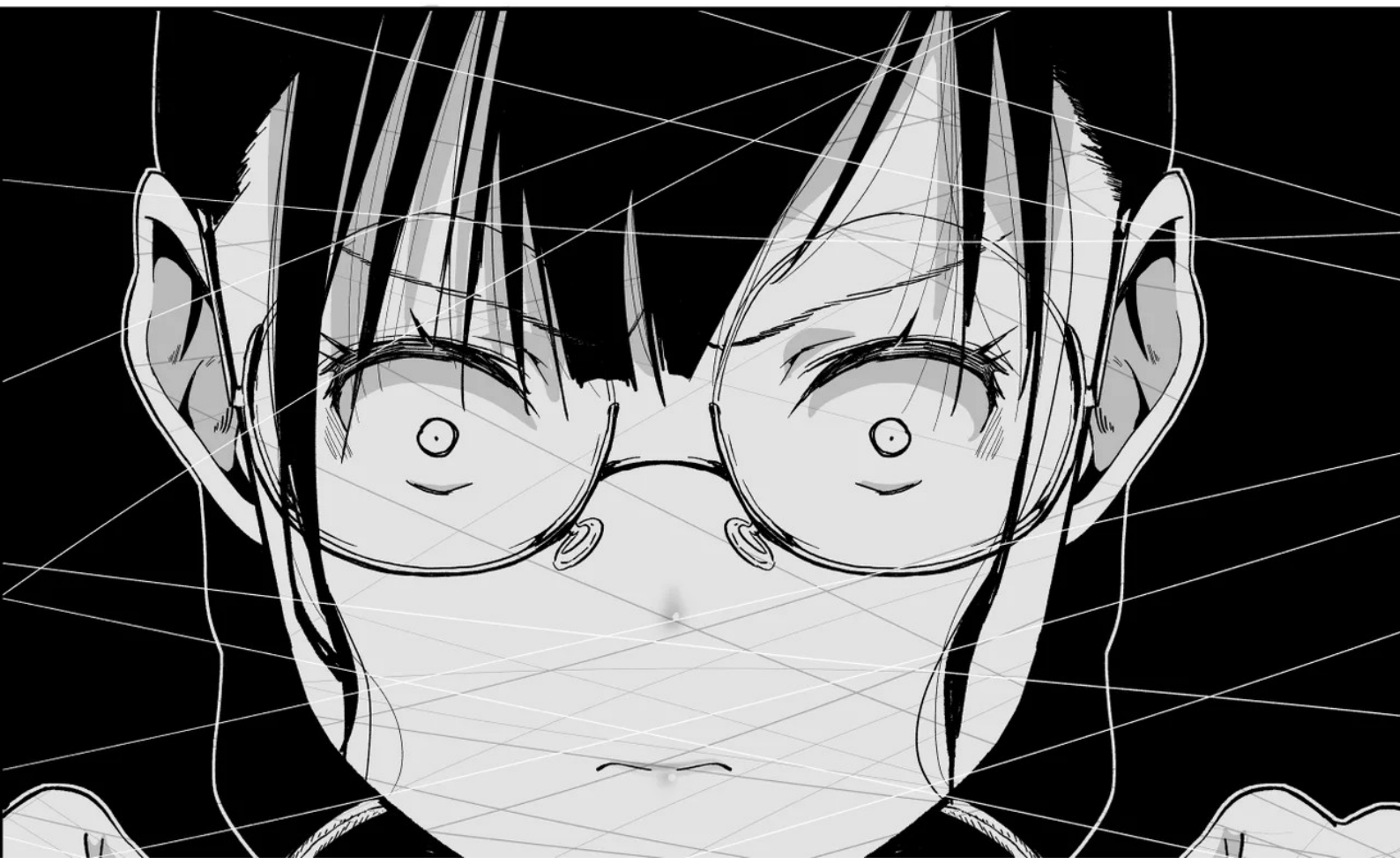
えっ!?

















あんなにも  
カワイくて  
オレに従順で



おまけに

**ドエロい**

女の子なんて

この先

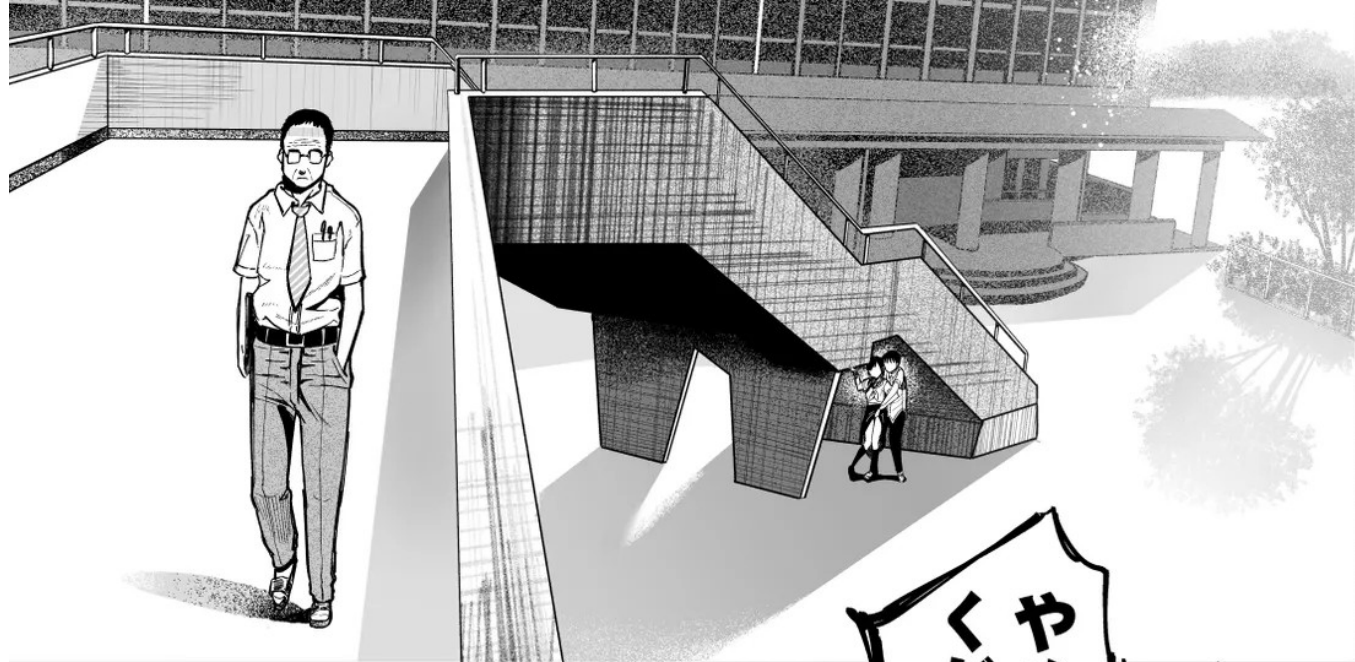
出会えるのか…？

**否！**

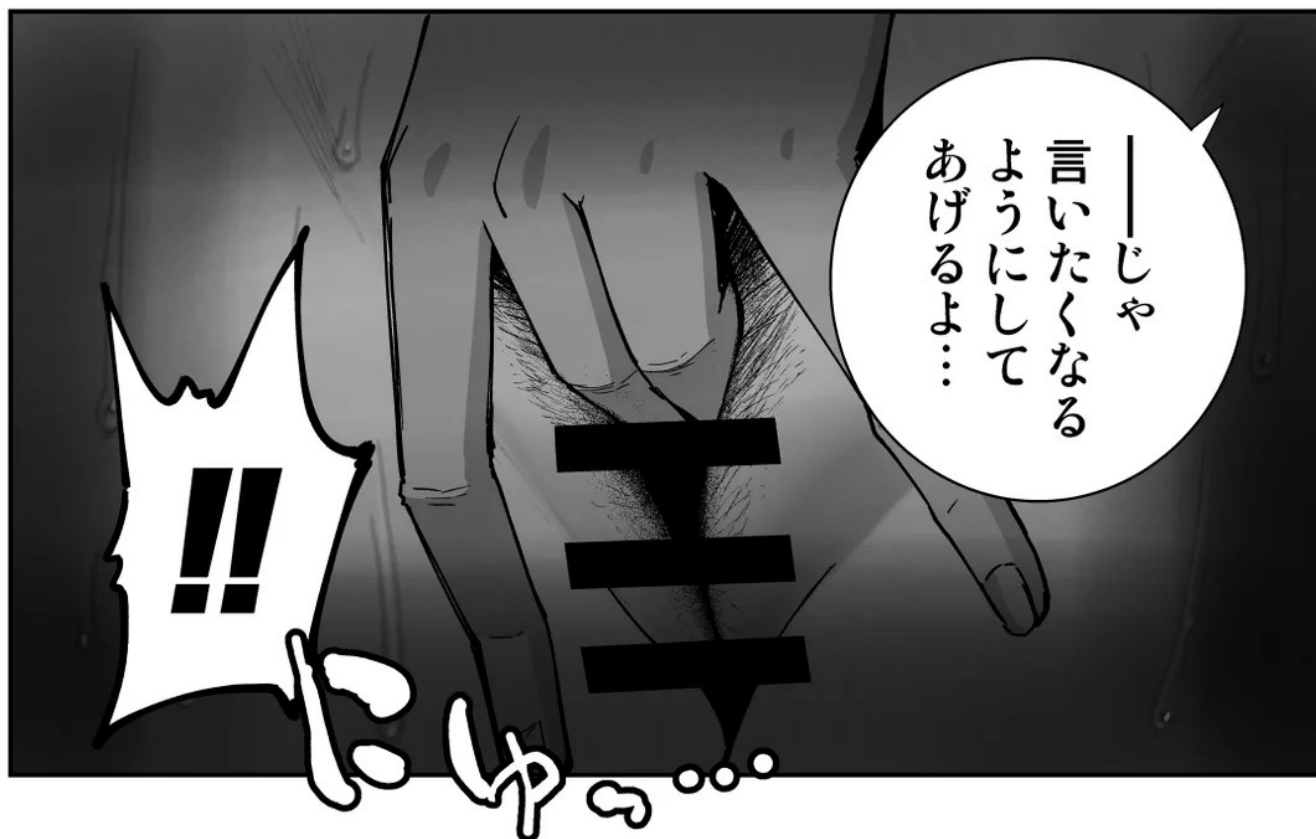


待てっ！！

**断じて  
否！！**





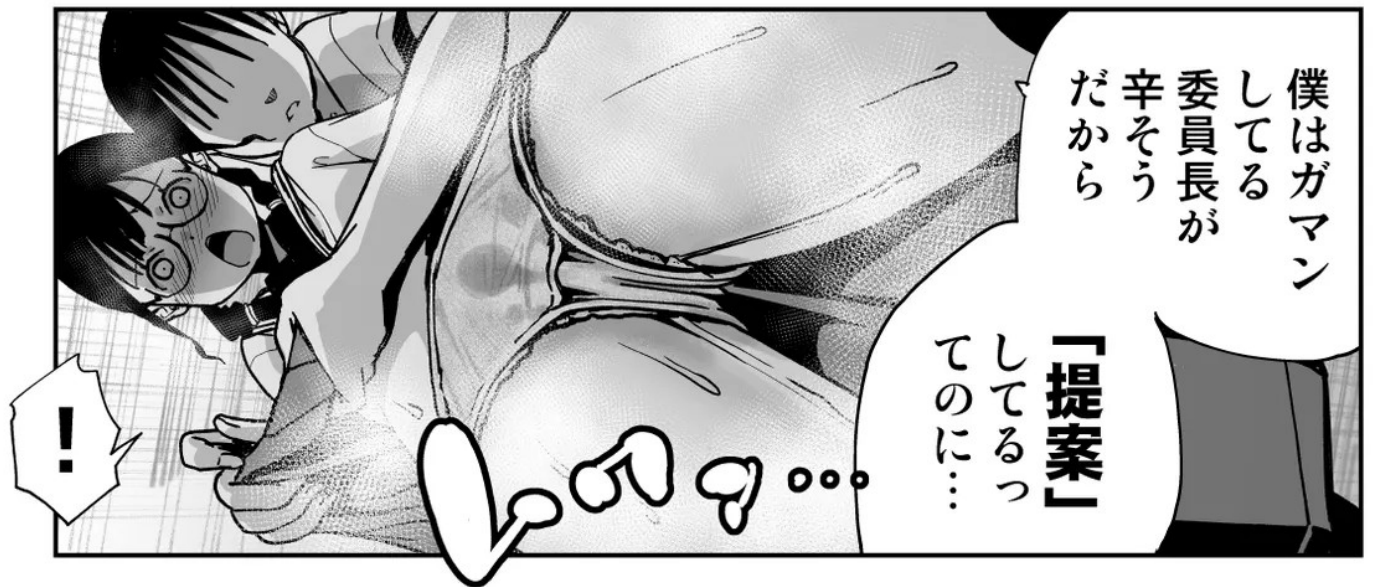






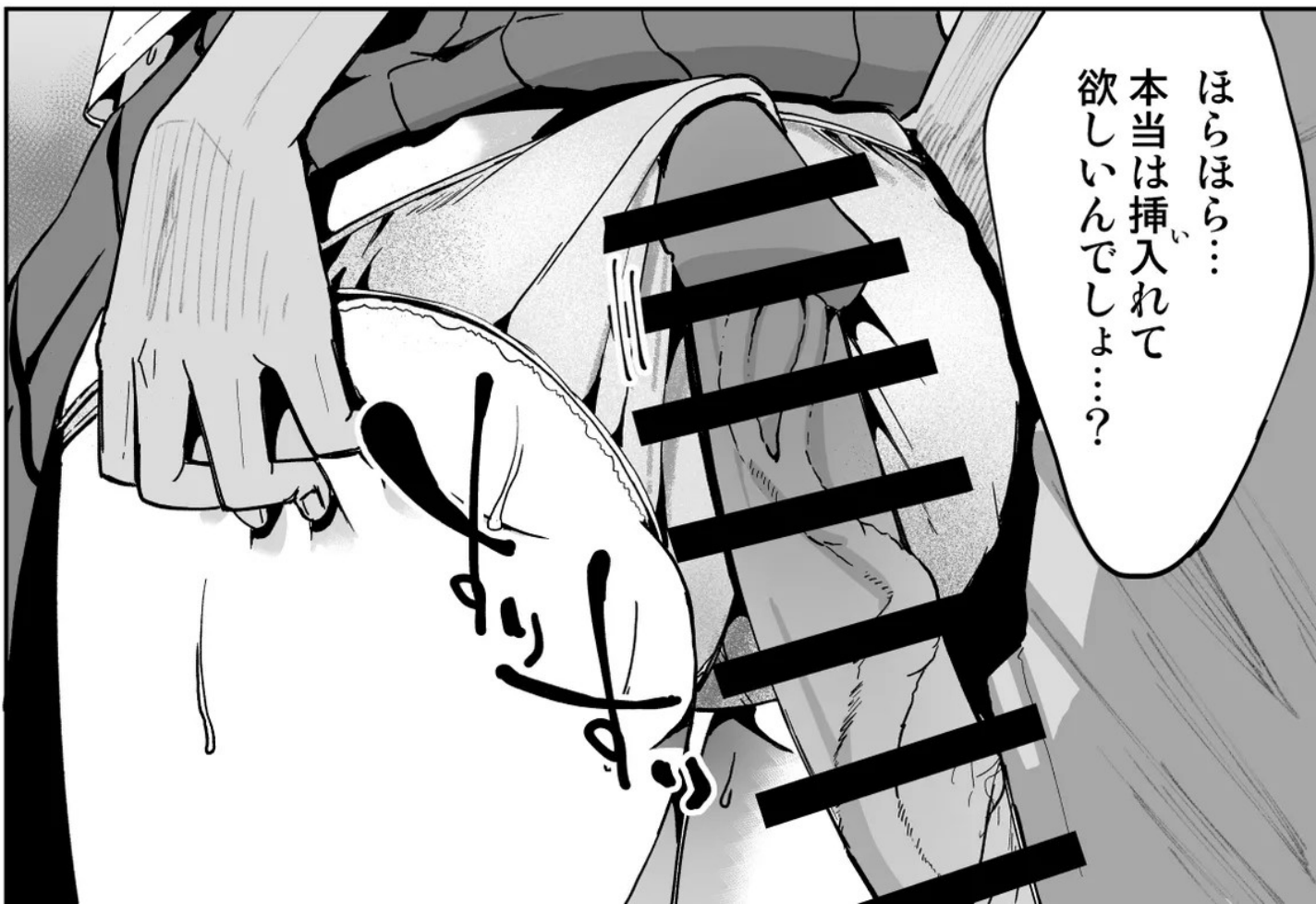
「ズルい」?

心外  
だね…



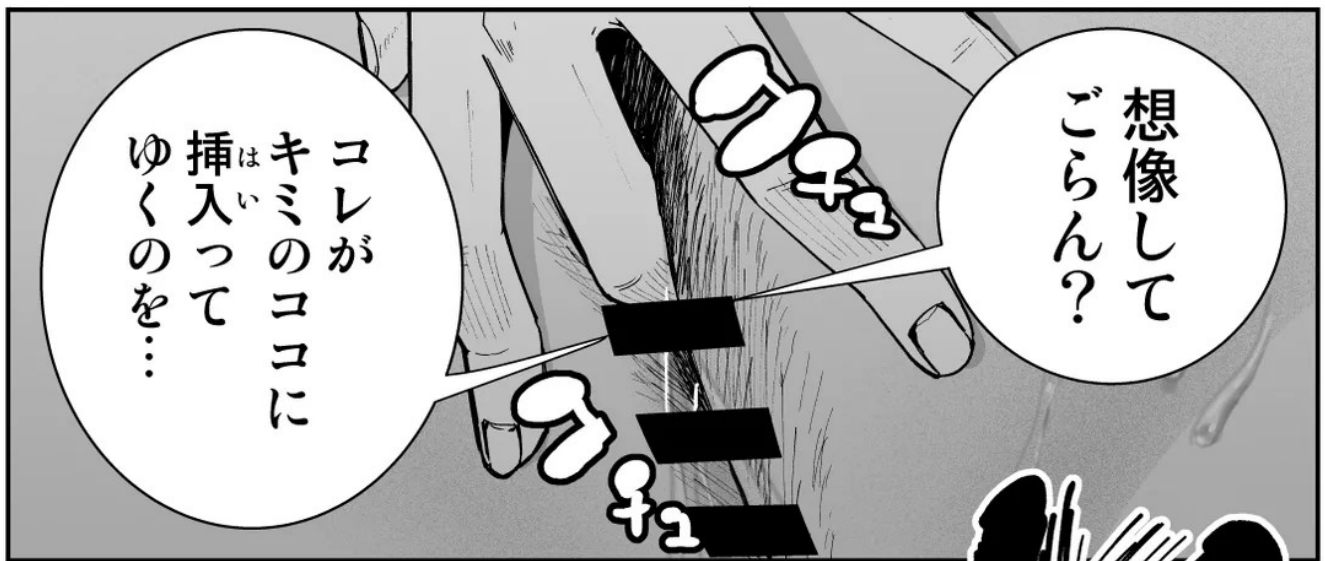
僕はガマン  
してる  
委員長が  
辛そう  
だから

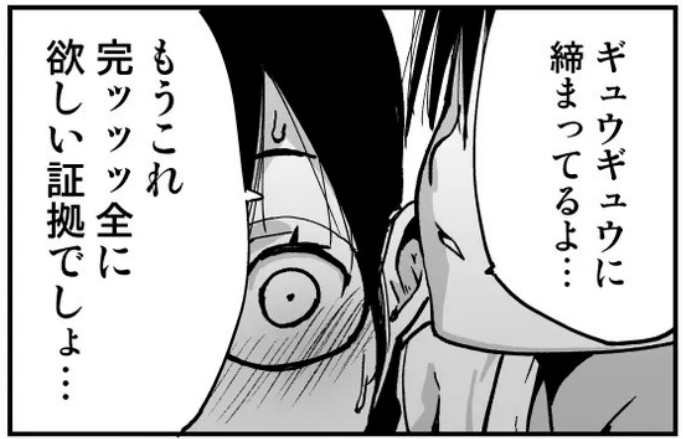
「提案」  
してるっ  
てのに…



ほらほら…  
本当は挿入れて  
欲しいんでしょ…?

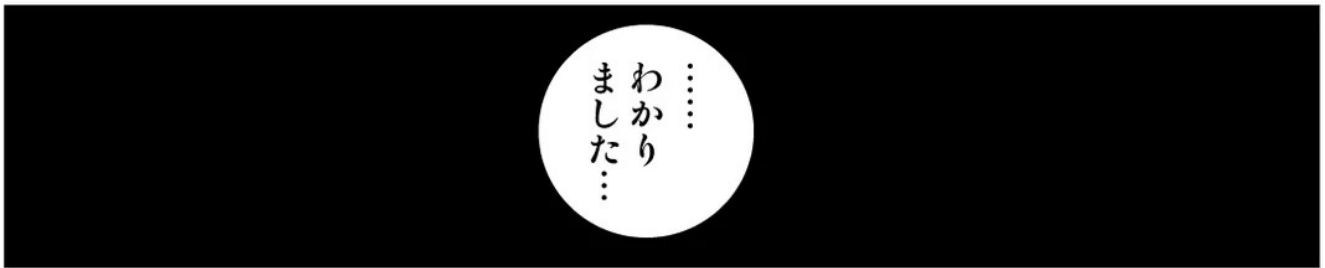






ギューギューに  
締まってるよ…

もうこれ  
完ツツ全に  
欲しい証拠でしょ…



……  
わかり  
ました…



訳を  
お話し  
します  
から

どうか…  
どうか

ご主人様の  
モノを  
挿入れて  
ください…

お願いします…

お願いします…





なるほど…

そういう事  
か……

…申し訳  
ございません…

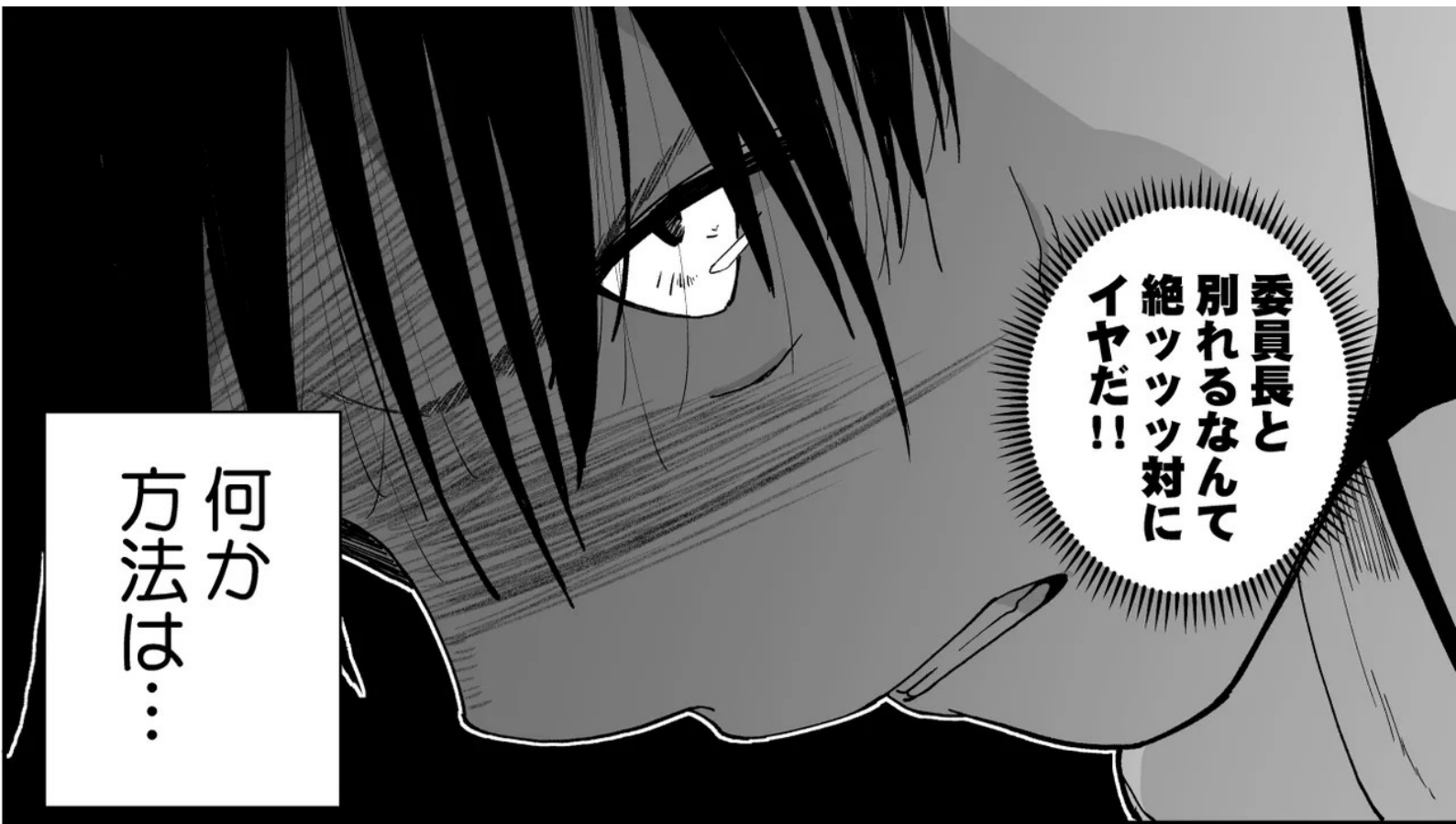
私のテストの成績が  
悪かったばかりに…

授業すら  
サボるくらい  
だから

家じゃ  
絶対に勉強  
できてないと  
思ってたけど

やっぱじ  
かよ……





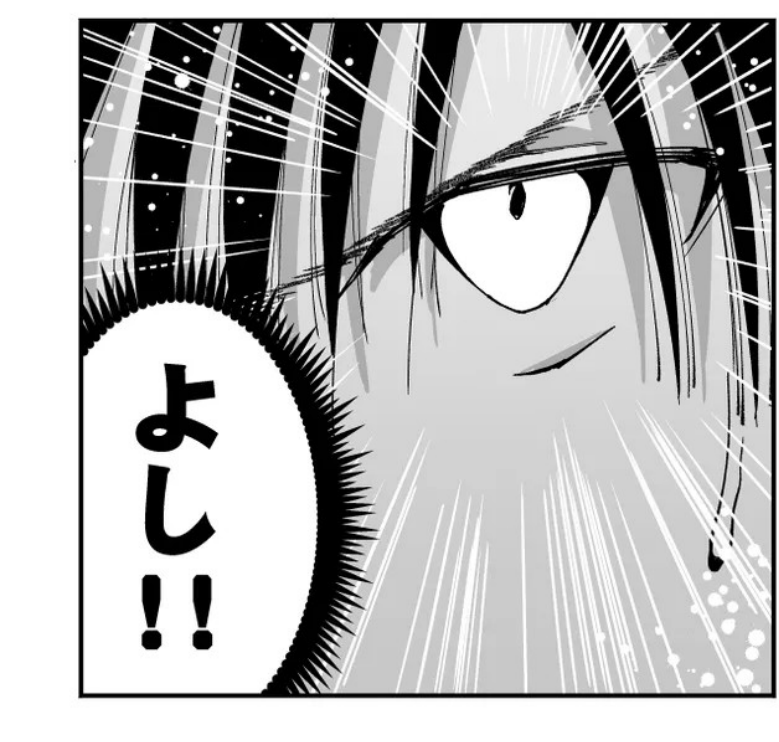
委員長と  
別れるなんて  
絶ッッッ対に  
イヤだ!!

何か  
方法は…



………  
先生が問題視  
しているのは  
テストの成績な  
訳だから

要はテストの  
成績が良くなれば  
いいんだよな…



よし!!



—はい…

ご主人様…

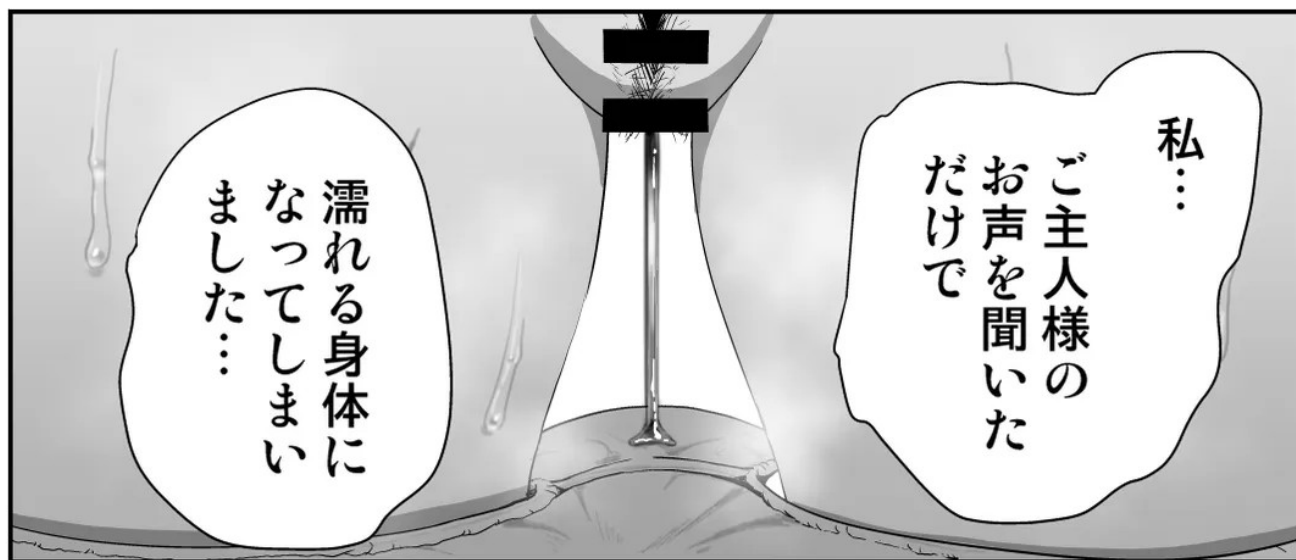
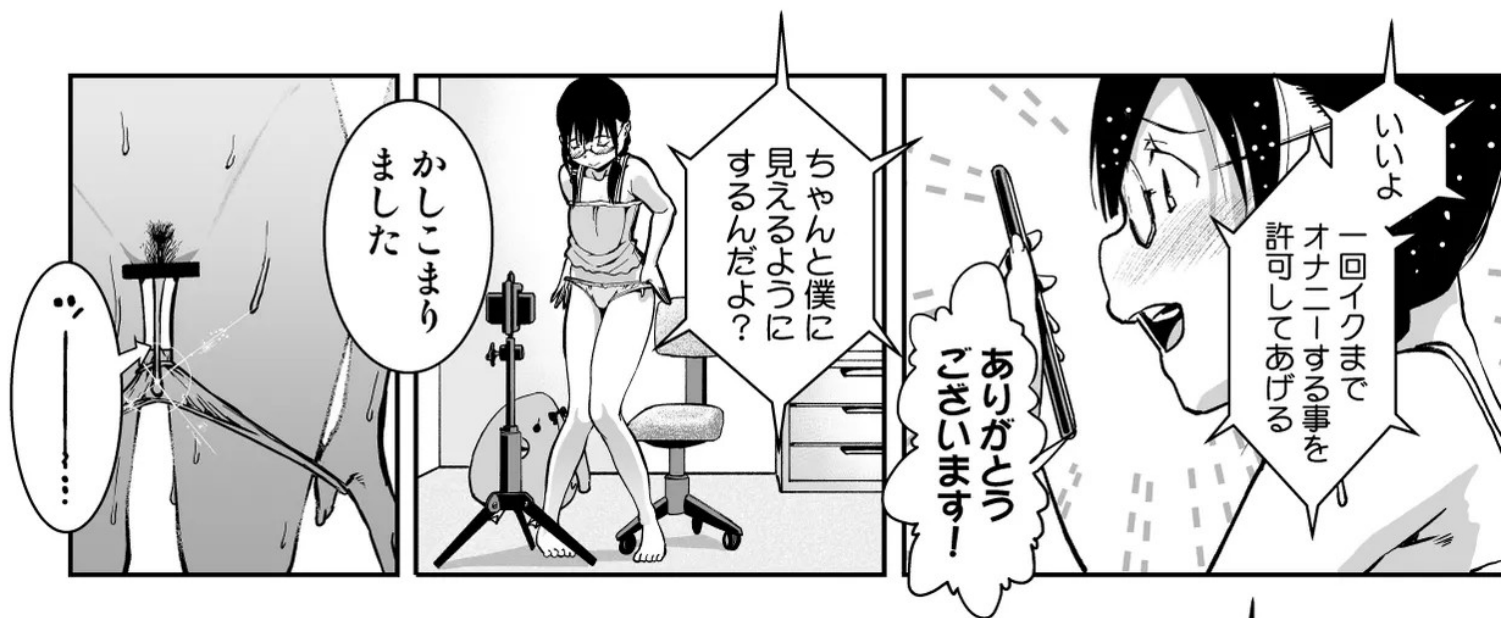


…ですから  
あの…  
ごほうびを…

もう  
うずいてうずいて  
仕方ないんです…



課題がひとつ  
終わりました



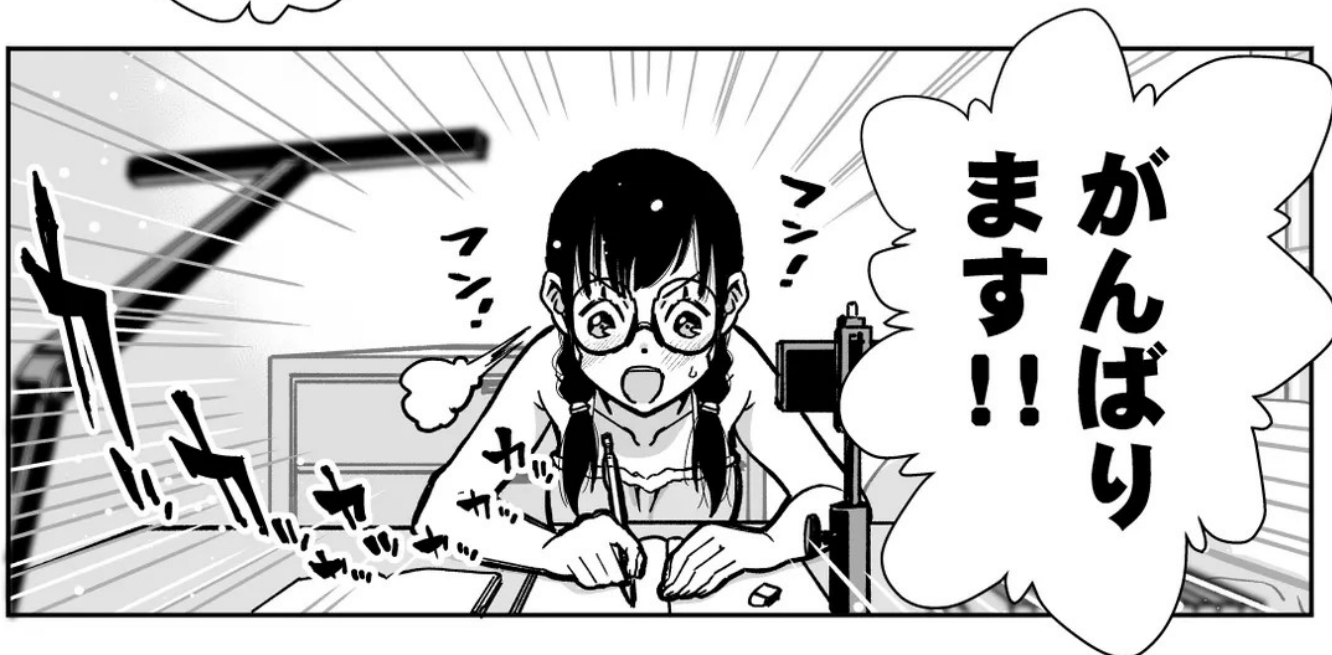
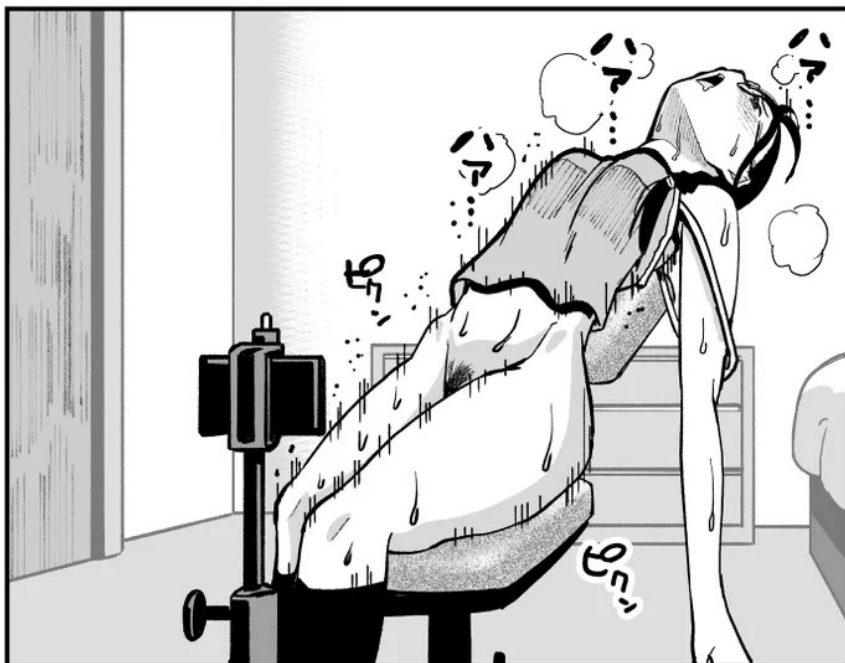








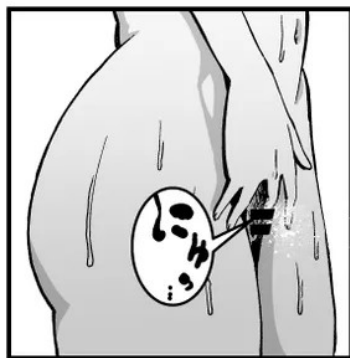


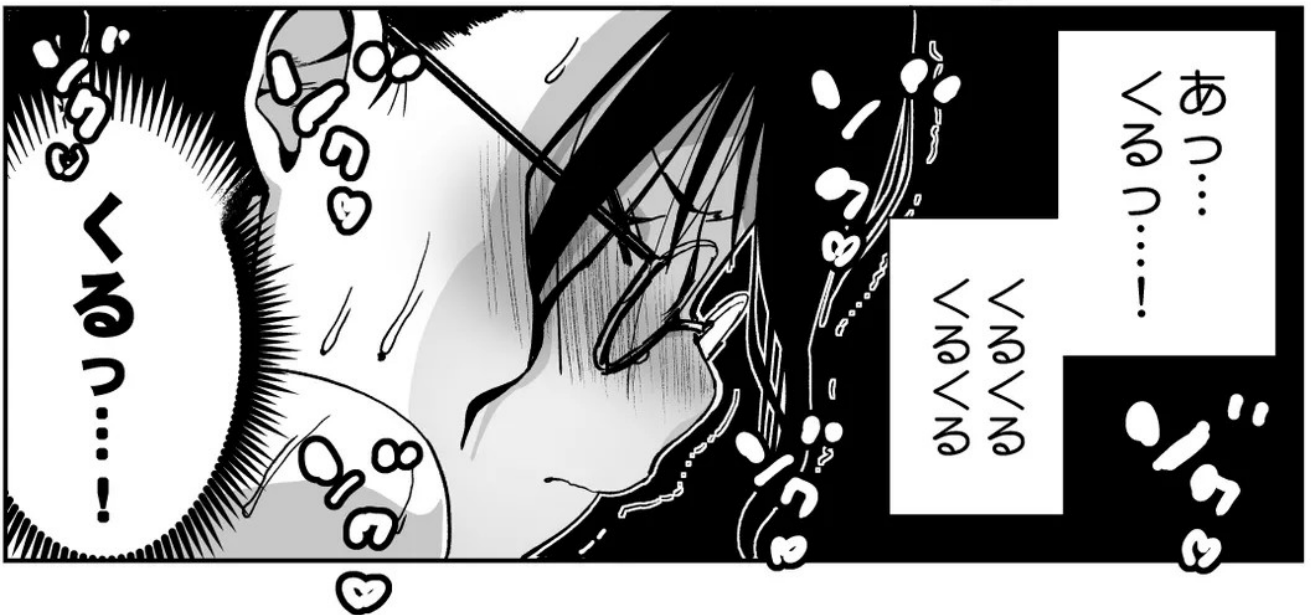


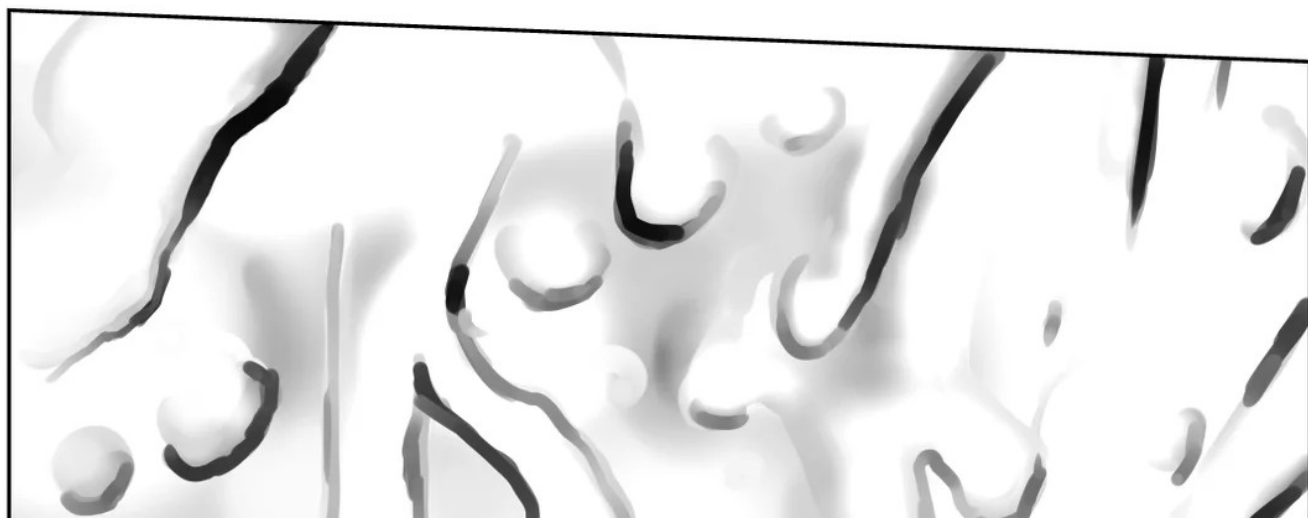












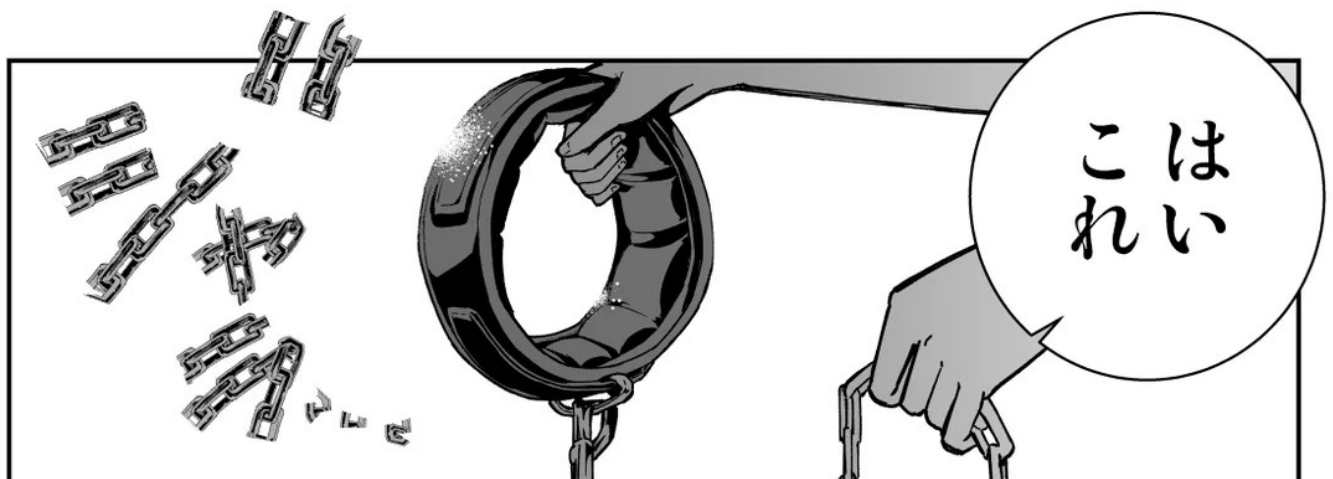


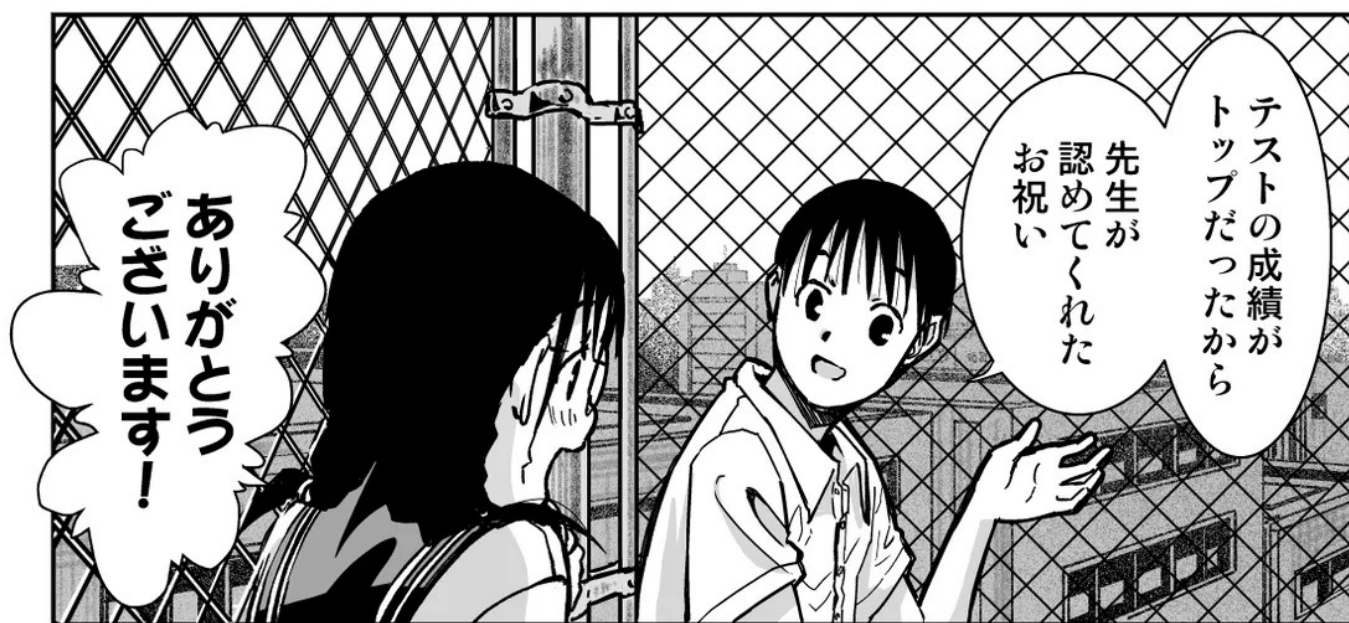
# 中間テスト学年順位

やった!!  
1位!

## 前田こだま

## 大成功





ホッと  
したあ〜…

委員長が  
そばに居る  
生活が  
あたりまえに  
なっちゃった  
から

この子がいらない  
生活なんて  
想像もできない  
もんな…

ホントに…  
ホントにカワイイ  
僕だけの奴隷…

これは

「キミを  
隷属させている」  
という  
証だよ

…はい





ご主人様が  
私に刺激を  
与えてくださる  
限りは

奴隷で  
いますね♡



—あれ？

もしかして  
圧かけられ  
てるのは  
オレの方？

# After word

—我々はサークル「もなか同盟」から  
新作が発表されるとの情報を入手し、  
作画担当の「どどそんP」氏を直撃した。

ピンポーン！ ピンポーン！

どどそんP(以下P)はい。(ガチャ)

—もなか同盟から新作が発表されると  
いうのは事実でしょうか！！！！？

P:わッ！？ ビックリしたぁ…  
あいかわらず情報が早いんですね…  
まさか私の作業場にスパイとか送り込んでませんよね…？

—…うッ… なぜそれを…

P:こっわ！ 当たり！？ ウソ…

—まあ、それは置いといて…  
約4ヶ月ぶりの新作ですね。今回は1ヶ月ぶりだったのに対して間が空きましたね。

P:ちょっと…大事なことを置いとかないでもらえますか…？

…ええ、今回は113ページという大容量だったので…作画に時間がかかってしまいました。

—113ページとは多いですね…

P:ホントはもっと短いネタだったんですが、プロデューサー・しばい仲達の思いつきでこんなページ数に…  
おかげで体の至る所にダメージが…

あの人、偉そうに見張っているだけでちっとも手伝わないんですよ！？ヒドイと思いませんか！？

—…しばい氏は相変わらずですね…

P:アレで有能じゃなかったらブチギレものなんですけど…

—そういえばその人、有能なんでしたっけ…

P:ええ、まあ… そこが逆にタチ悪いですよ。

…という訳なので次作も「しばい仲達」プロデュースで進める予定です。  
みなさんお楽しみに！

—どどそんP氏はしばい仲達氏との関係に悩みながらもヤル気に満ち溢れて  
いるように見えた。

これからも「もなか同盟」から目が離せそうにない。

委員長がDMなのを知っているのはクラスでオシだけ

発行

2024年11月

サークル

もなか同盟

© Monakadoumei 2024

スタッフ

しばい仲達

どどそんP

えけべ莉亜

店長

**WARNING!**

**禁無断転載**

本作品の一部、又は全部を無断で複写、複製  
スキャン、WEBアップロードをすることは  
法律で認められた場合を除き著作権の侵害となります。  
また本作品を代行業者等、第三者に依頼して  
スキャン等、デジタル化することは  
たとえ個人や家庭内の利用であっても  
著作権法違反です。

この作品はフィクションであり  
実在の人物、団体、出来事などとは  
いっさい関係ありません。